



滋賀県立大学 2022年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110181	英語 A (活性化コース) (看護)	野瀬 昌彦	前期	1
1110182	英語 B (活性化コース) (看護)	野瀬 昌彦	後期	3
1110191	英語 A (活性化コース) (看護)	野瀬 昌彦	前期	5
1110192	英語 B (活性化コース) (看護)	野瀬 昌彦	後期	7
1110391	英語 A (応用コース) (看護)	Ashley Stevens	前期	9
1110392	英語 B (応用コース) (看護)	Ashley Stevens	後期	11
1110401	英語 A (応用コース) (看護)	Ashley Stevens	前期	13
1110402	英語 B (応用コース) (看護)	Ashley Stevens	後期	15
1110591	英語 A (充実コース) (看護)	西澤 裕一	前期	17
1110592	英語 B (充実コース) (看護)	西澤 裕一	後期	19
1110601	英語 A (充実コース) (看護)	市場 史哉	前期	21
1110602	英語 B (充実コース) (看護)	市場 史哉	後期	23
1110801	英語 A (展開コース) (看護)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	25
1110802	英語 B (展開コース) (看護)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	27
1110811	英語 A (展開コース) (看護)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	29
1110812	英語 B (展開コース) (看護)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	31
1130070	情報リテラシー (情報倫理を含む) (看護a)	森 将豪	前期	33
1130080	情報リテラシー (情報倫理を含む) (看護b)	森 将豪	前期	35
1130180	情報科学概論 (看護a)	森 将豪	後期	37
1130190	情報科学概論 (看護b)	森 将豪	後期	39
1150340	人間探求学 (人間看護) 学科教員		前期	41
1500061	母性看護学概論 千葉 陽子		後期前半	43
1500062	母性看護学 渡邊 友美子		前期	45
1500064	母性看護学実習 渡邊 友美子		通年実習	47
1500080	疫学 趙 林		後期	49
1500081	エンドオブライフケア演習/ 小野 あゆみ		前期	51
1500082	エンドオブライフケア実習/ 喜多下 真里		通年実習	53
1500083	家族看護学 大脇 万起子		前期	55
1500105	解剖生理学 坪井 宏仁		前期	57
1500115	解剖生理学 越山 雅文		後期	59
1500121	看護英語/ 坪井 宏仁		前期	61
1500123	看護英語実践 牧野 耕次		後期集中	63
1500125	生化学 若林 保良		前期前半	65
1500129	看護管理学 米田 照美		前期前半	67
1500142	看護キャリアデザイン論 横井 和美		前期	69
1500143	看護教育と実践 千田 美紀子		前期集中	71
1500145	看護研究の基礎 牧野 耕次		通年集中	73
1500161	看護トピックス/ 下通 友美		前期	75
1500162	看護理論 (看護学部) 米田 照美		後期	77
1500163	基礎看護学実習 伊丹 君和		前期実習	79
1500164	基礎看護学実習 米田 照美		前期実習	81
1500165	基礎看護技術 (コミュニケーション・生活環境) 伊丹 君和		前期	83
1500166	基礎看護技術 (生活行動援助) 千田 美紀子		後期	85
1500167	基礎看護技術 伊丹 君和		前期	87
1500168	基礎看護技術 関 恵子		前期	89
1500181	クリティカルケア実践演習 荒川 千登世		前期	91
1500195	病理学総論 [病理学] 坪井 宏仁		後期	93
1500205	微生物学 / 免疫学 [微生物学] 北川 善紀		前期前半	95
1500212	健康教育論 馬場 文		前期	97
1500213	公衆衛生学 (看護) 草野 文嗣		前期	99
1500214	公衆衛生看護学 馬場 文		前期前半	101
1500215	公衆衛生看護学 馬場 文		前期後半	103
1500216	公衆衛生看護学概論 小林 孝子		前期	105
1500217	国際看護学 近藤 麻理		前期集中	107
1500221	災害看護学 岩永 尊		前期集中	109
1500223	在宅看護学概論 新井 香奈子		前期前半	111
1500225	在宅看護学実習 森本 安紀		通年実習	113
1500226	在宅看護学 森本 安紀		後期	115
1500311	疾病論 横井 和美		前期	117
1500321	小児看護学概論 古株 ひろみ		前期前半	119
1500325	疾病論 古株 ひろみ		後期	121
1500326	疾病論 越山 雅文		後期前半	123
1500327	精神保健論 甘佐 京子		後期	125
1500328	栄養学 奥村 万寿美		後期	127
1500329	小児看護学 古株 ひろみ		後期	129
1500345	小児看護学演習 玉川 あゆみ		前期	131
1500365	小児看護学実習 川端 智子		通年実習	133
1500452	成人看護学概論 糸島 陽子		後期前半	135
1500453	成人クリティカルケア演習/ 荒川 千登世		前期	137
1500454	成人クリティカルケア実習/ 生田 宴里		通年実習	139
1500455	成人クロニックケア演習/ 中川 美和		後期	141
1500456	成人クロニックケア実習/ 片山 将宏		通年実習	143
1500465	成人看護学 横井 和美		前期	145
1500580	卒業研究 (人間看護) 学科教員		通年研究	147
1500732	チャイルドライフケア論 古株 ひろみ		前期前半	149

1500734	人間看護学概論	本田 可奈子	前期前半	．．．	151
1500742	人間看護学統合実習	本田 可奈子	前期実習	．．．	153
1500841	ボランティア実践演習	関 恵子	前期集中	．．．	155
1500842	ホリスティックケア論	糸島 陽子	前期	．．．	157
1500844	精神看護学	牧野 耕次	後期	．．．	159
1500845	精神看護学演習	下通 友美	前期	．．．	161
1500846	精神看護学実習	牧野 耕次	通年実習	．．．	163
1500847	精神看護学概論	甘佐 京子	後期	．．．	165
1500941	薬理学	土田 勝晴	前期前半	．．．	167
1500991	老年看護学概論	岡本 紀子	前期後半	．．．	169
1500997	老年看護学	岡本 紀子	後期	．．．	171
1501032	老年看護学実習	/ 松井 宏樹	通年実習	．．．	173
1501042	老年看護学実習	/ 岡崎 瑞生	通年実習	．．．	175
1501043	地域（健康）生活実習	[地域生活実習] 岡崎 瑞生	前期後半	．．．	177
1852080	母性看護学演習	越山 雅文	後期	．．．	179
1852135	老年看護学演習	岡本 紀子	後期	．．．	181
1853210	在宅看護学演習	新井 香奈子	後期	．．．	183

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	野瀬 昌彦
講義コード	1110181	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的とした英語文法を基本としたテキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた150-200語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	教科書の内容と英文法の理解がきちんとできていること
レポート課題		
上記以外	50	毎回の授業の出席と毎回の単語試験の合計

5回欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

Microsoft Teamsに授業用のチームを作成します。そちらで、追加指導を実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Answers to Everyday questions 2	Arnold Arao他	南雲堂	978452317935
2				
3				

教科書は大学生協で買えるようにします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書の持参をお願いします。辞書の詳細(紙の辞書か、電子辞書か、スマートホンのアプリ)については、初回授業でお話しします。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)					担当教員	野瀬 昌彦
講義コード	1110181	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習
第1回	Introduction	Introduction to English reading. How to read English sentences and how to use dictionary.	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第2回	Unit1	What is "Black Friday"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第3回	Unit2	What is "leap year"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第4回	Unit3	Why do big ceremonies have a red carpet?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第5回	Unit4	Where did "mouthwash" come from?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第6回	Unit5	What is a "Viking"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第7回	Unit6	Why are oranges "orange"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第8回	Unit7	Where did "Vaseline" come from?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第9回	Unit8	Why are flamingos "pink"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第10回	Unit9	What is a movie "trailer"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第11回	Unit10	Where di "bubble wrap" come from?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第12回	Unit11	Why is a billiard table "green"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第13回	Unit12	Why is film called "footage"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第14回	Unit13	Where did "Coca-Cola" come from?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30
第15回	Unit14	Why are social media apps "blue"?	90 First reading and listening in 40 Review the contents of the story 30

担当者から

よろしく申し上げます .

講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	野瀬 昌彦
講義コード	1110182	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験として実施します、紙の試験で、教科書の内容を理解しているかどうかを試験します。
レポート課題		
上記以外	50	毎回の授業の参加と、毎回の単語テストまたはリアクションペーパーを点数化します。

5回欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

Microsoft Teamsに授業用のチームを作成し、そちらに予習用の音声教材や、復習用の解説ファイルなどをアップします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SA: Scientific Adventures	Michael C. Faudree他	桐原書店	9784342550133
2				
3				

教科書は大学生協で買えるようにします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書の持参をお願いします。辞書の詳細(紙の辞書か、電子辞書か、スマートホンのアプリ)については、初回授業でお話しします。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	野瀬 昌彦
講義コード	1110191	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的とした英語文法を基本としたテキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた150-200語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	教科書の内容と英文法の理解がきちんとできていること
レポート課題		
上記以外	50	毎回の授業の出席と毎回の単語試験の合計

5回欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

Microsoft Teamsに授業用のチームを作成します。そちらで、追加指導を実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Answers to Everyday questions 2	Arnold Arao他	南雲堂	978452317935
2				
3				

教科書は大学生協で買えるようにします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書の持参をお願いします。辞書の詳細(紙の辞書か、電子辞書か、スマートホンのアプリ)については、初回授業でお話しします。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	野瀬 昌彦	
講義コード	1110191	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	Introduction	Introduction to English reading. How to read English sentences and how to use dictionary.					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第2回	Unit1	What is "Black Friday"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第3回	Unit2	What is "leap year"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第4回	Unit3	Why do big ceremonies have a red carpet?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第5回	Unit4	Where did "mouthwash" come from?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第6回	Unit5	What is a "Viking"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第7回	Unit6	Why are oranges "orange"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第8回	Unit7	Where did "Vaseline" come from?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第9回	Unit8	Why are flamingos "pink"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第10回	Unit9	What is a movie "trailer"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第11回	Unit10	Where di "bubble wrap" come from?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第12回	Unit11	Why is a billiard table "green"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第13回	Unit12	Why is film called "footage"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第14回	Unit13	Where did "Coca-Cola" come from?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
第15回	Unit14	Why are social media apps "blue"?					90	First reading and listening in	40		
								Review the contents of the story	30		
担当者から											
よろしくお願します .											

講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	野瀬 昌彦
講義コード	1110192	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験として実施します、紙の試験で、教科書の内容を理解しているかどうかを試験します。
レポート課題		
上記以外	50	毎回の授業の参加と、毎回の単語テストまたはリアクションペーパーを点数化します。

5回欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

Microsoft Teamsに授業用のチームを作成し、そちらに予習用の音声教材や、復習用の解説ファイルなどをアップします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SA: Scientific Adventures	Michael C. Faudree他	桐原書店	9784342550133
2				
3				

教科書は大学生協で買えるようにします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書の持参をお願いします。辞書の詳細(紙の辞書か、電子辞書か、スマートホンのアプリ)については、初回授業でお話しします。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110391	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110392	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110401	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110401	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習	
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric.	90 Mi		
第2回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on hotels and	90 Mi		
第3回	Hotels, Airports and Taxis	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on hotels and	90 Mi		
第4回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. with a focus on map reading	90 Mi		
第5回	How to get around	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad. with a focus on map reading	90 Mi		
第6回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi		
第7回	Restaurants and Eating	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi		
第8回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on money and	90 Mi		
第9回	Shopping	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on money and	90 Mi		
第10回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on ailments and	90 Mi		
第11回	At the Doctors	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on ailments and	90 Mi		
第12回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi		
第13回	Going to the Movies	Focusing on the functional language used in real life situations when travelling abroad with a focus on talking	90 Mi		
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.	90 Mi		
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.	90 Mi		
担当者から					

講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110402	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んで正確に内容を理解することができること。
3. 英語の物語を挿絵等も参考にしながら描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度 (授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど) の悪いものは評価の対象としません。

(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない) 2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。 半期で三分の一以上の欠席をした場合も評価

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。時間の許す限り繰り返し読んで授業が始まるまでに内容をしっかりと理解しておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The House at Pooh Corner	A .A. Milne	Puffin Books	9780140361223
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修する際にはそのことを了解して履修してください。

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など				90分	指定された教科書を手に入れて、指 ガイダンスの内容をしっかりと理解す
第2回	医療施設の英語 (1)/Pooh Corner (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第3回	医療施設の英語 (2)/Pooh Corner (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第4回	診療科の英語(1)/Pooh Corner (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第5回	診療科の英語(2)/Pooh Corner (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第6回	身体の英語(1)/Pooh Corner (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第7回	身体の英語(2)/Pooh Corner (6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第8回	疾患に関する英語 (1)/Pooh Corner (7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第9回	疾患に関する英 (2)/Pooh Corner (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第10回	入院環境(1)/Pooh Corner (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第11回	入院環境(2)/Pooh Corner (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第12回	患者の観察(1)/Pooh Corner (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第13回	患者の観察(2)/Pooh Corner (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第14回	慢性期看護(1)/Pooh Corner (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第15回	慢性期看護(2)/Pooh Corner (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第16回	安楽について(1)/Pooh Corner (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第17回	安楽について(2)/Pooh Corner (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第18回	移動介助(1)/Pooh Corner (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第19回	移動介助(2)/Pooh Corner (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第20回	与薬について(1)/Pooh Corner (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第21回	与薬について(2)/Pooh Corner (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第22回	救急看護(1)/Pooh Corner (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第23回	救急看護(2)/Pooh Corner (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第24回	周手術期ケアについて (1)/Pooh Corner (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第25回	周手術期ケアについて (2)/Pooh Corner (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第26回	妊娠と出産(1)/Pooh Corner (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第27回	妊娠と出産(2)/Pooh Corner (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第28回	小児看護(1)/Pooh Corner (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第29回	小児看護(2)/Pooh Corner (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第30回	地域・住宅看護/Pooh Corner (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
担当者から							
授業に積極的に取り組んで基本的な医療に関する英語をしっかりと学習して、さらに英語の物語の読解力も向上させてください。							

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んで正確に内容を理解することができること。
3. 英語の物語を挿絵等も参考にしながら描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度 (授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど) の悪いものは評価の対象としません。

(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない) 2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。 半期で三分の一以上の欠席をした場合も評価

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。時間の許す限り繰り返し読んで授業が始まるまでに内容をしっかりと理解しておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The House at Pooh Corner	A .A. Milne	Puffin Books	9780140361223
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修する際にはそのことを了解して履修してください。

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など				90分	指定された教科書を手に入れて、指 4 ガイダンスの内容をしっかりと理解す 4
第2回	医療施設の英語 (1)/Pooh Corner (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第3回	医療施設の英語 (2)/Pooh Corner (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第4回	診療科の英語(1)/Pooh Corner (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第5回	診療科の英語(2)/Pooh Corner (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第6回	身体の英語(1)/Pooh Corner (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第7回	身体の英語(2)/Pooh Corner (6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第8回	疾患に関する英語 (1)/Pooh Corner (7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第9回	疾患に関する英 (2)/Pooh Corner (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第10回	入院環境(1)/Pooh Corner (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第11回	入院環境(2)/Pooh Corner (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第12回	患者の観察(1)/Pooh Corner (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第13回	患者の観察(2)/Pooh Corner (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第14回	慢性期看護(1)/Pooh Corner (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第15回	慢性期看護(2)/Pooh Corner (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第16回	安楽について(1)/Pooh Corner (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第17回	安楽について(2)/Pooh Corner (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第18回	移動介助(1)/Pooh Corner (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第19回	移動介助(2)/Pooh Corner (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第20回	与薬について(1)/Pooh Corner (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第21回	与薬について(2)/Pooh Corner (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第22回	救急看護(1)/Pooh Corner (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第23回	救急看護(2)/Pooh Corner (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第24回	周手術期ケアについて (1)/Pooh Corner (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第25回	周手術期ケアについて (2)/Pooh Corner (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第26回	妊娠と出産(1)/Pooh Corner (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第27回	妊娠と出産(2)/Pooh Corner (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第28回	小児看護(1)/Pooh Corner (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第29回	小児看護(2)/Pooh Corner (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
第30回	地域・住宅看護/Pooh Corner (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ					指示された英文を読んでくること 授業で取り上げた医療に関する英単
担当者から							
授業に積極的に取り組んで基本的な医療に関する英語をしっかりと学習して、さらに英語の物語の読解力も向上させてください。							

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110601	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	期末テスト News Story 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 35% Teams上で内容確認問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに出版社のオンライン動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Broadcast: ABC WORLD NEWS TONIGHT 2	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4096-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110602	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	期末テスト Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 35% Microsoft Teams上で内容確認問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに出版社の動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Broadcast: ABC World News Tonight 3	山根繁	金星堂	978-4-7647-4115-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110801	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

This course is designed to help students improve their English language skills through the theme of environment and health. Students will be engaged in activities such as discussions, pair/group work, and presentations while also being exposed to materials which are relevant to the field of nursing. They are expected to proactively participate in all activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Demonstrate knowledge of environment and health by discussing a related issue
- 2) Identify the different features of a paragraph and an essay
- 3) Apply their knowledge to write a coherent, logical and organized essay on a topic related to health and environment

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Good Health, Better Life 健康的な生活から学ぶ大学総合英語	西原俊明 / 西原真弓 / Pino Cutrone	株式会社 金星堂	978-4-7647-4078-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110802	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This course is designed to help students improve their English language skills through the theme of environment and health. Students will be engaged in activities such as discussions, pair/group work, and presentations while also being exposed to materials which are relevant to the field of nursing. They are expected to proactively participate in all activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Demonstrate knowledge of environment and health by discussing a related issue
- 2) Identify the different features of a paragraph and an essay
- 3) Apply their knowledge to write a coherent, logical and organized essay on a topic related to health and environment

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Good Health, Better Life 健康的な生活から学ぶ大学総合英語	西原俊明 / 西原真弓 / Pino Cutrone	株式会社 金星堂	978-4-7647-4078-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO	
講義コード	1110802	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画										
回数	テーマ	概要			予習 / 復習					
第1回	Unit 7	What Can Happen When You 're Too Clean?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第2回	Unit 7	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第3回	Unit 8	Does Gender Affect Cancer Susceptibility?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第4回	Unit 8	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第5回	Unit 9	Why Do Many of Us Develop Fear of Heights with Age?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第6回	Unit 9	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第7回	Unit 10	What Are the Dangers of a Sweltering Summer?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第8回	Mid-term test	Essay			1 時	An announcement will be made in Not applicable				1 1
第9回	Unit 11	Which Makes a Better Athlete, Being a Night Owl or an Early Bird?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第10回	Unit 11	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第11回	Unit 12	How Better to Release Your Stress?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第12回	Unit 12	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第13回	Unit 13	What Are the Differences between Real and Robotic Pets?			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第14回	Unit 13	Supplementary activities to apply unit content			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
第15回	Review	Review Unit 7 - Unit 13			1 時	An announcement will be made in Content students do not				1 1
担当者から										
1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.										

講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110811	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

This course is designed to help students improve their English language skills through the theme of environment and health. Students will be engaged in activities such as discussions, pair/group work, and presentations while also being exposed to materials which are relevant to the field of nursing. They are expected to proactively participate in all activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Demonstrate knowledge of environment and health by discussing a related issue
- 2) Identify the different features of a paragraph and an essay
- 3) Apply their knowledge to write a coherent, logical and organized essay on a topic related to health and environment

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Good Health, Better Life 健康的な生活から学ぶ大学総合英語	西原俊明 / 西原真弓 / Pino Cutrone	株式会社 金星堂	978-4-7647-4078-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110812	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This course is designed to help students improve their English language skills through the theme of environment and health. Students will be engaged in activities such as discussions, pair/group work, and presentations while also being exposed to materials which are relevant to the field of nursing. They are expected to proactively participate in all activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Demonstrate knowledge of environment and health by discussing a related issue
- 2) Identify the different features of a paragraph and an essay
- 3) Apply their knowledge to write a coherent, logical and organized essay on a topic related to health and environment

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Good Health, Better Life健康的な生活から学ぶ大学総合英語	西原俊明 / 西原真弓 / Pino Cutrone	株式会社 金星堂	978-4-7647-4078-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130070	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報処理技術を習得することは、日常生活に資するだけでなく、大学で学び研究する上で必要不可欠なものです。本授業では、高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、文書作成処理技術など）や情報倫理について説明する。具体的には、レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる。そして情報倫理についても理解を深める。
- (2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること（20%）、
上記以外	40	毎回の授業において、受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業への参加度をチェックし評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130070	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習
第1回	情報処理環境の基本構成と操作	・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定	2	キーボードからの入力に慣れておいて1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第2回	情報処理環境の慣熟操作と各種設定	・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定と実践	2	キーボードからの入力に慣れておいて1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第3回	情報倫理について ～情報の保護と責務～	・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について	2	配布予定の「2022年度版 情報倫理」1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第4回	文書作成ソフトウェアの基礎	・ 文書作成ソフトウェアの起動と作成文書の保存(先) ・ OneDrive の使い方, USBメモリの使い方, 等	2	配布資料「OneDriveの使い方」を一1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第5回	表現の形態 ～論文を書くとは～	・ 論文を書くとはどのようなことか, レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点, 論文の標準的なスタイル.	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第6回	論文作法 - 1 ～書式設定の詳細～	・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン, フォントとサイズ, 段組, 等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第7回	論文作法 - 2 ～論文の構成～	・ 具体的な入力法（草だて, 段落, 脚注, インデント, 参考文献, 等）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第8回	論文作法 - 3 ～Excel による表デー	・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み, 等	2	高校の「情報」の授業で学んだ1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第9回	論文作法 - 4 ～論文の形式～	・ 論文の形式と文章の特徴（文体）	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第10回	情報倫理について ～剽窃は犯罪～	・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について	2	「2022年度版 情報倫理ハンドブック」1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第11回	図書文献検索ガイダンス	・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得	2	オリエンテーションで説明された図書1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第12回	論文作法 - 5 ～剽窃防止と文献引用	・ 剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・ 知的所有権と情報へのアクセスの確保	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第13回	論文作法 - 6 ～論文発表の基本～	・ パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点	2	（資料として配布する）Power 1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第14回	表現の形態 ～まとめ～	・ 論文作法のまとめ ・ 作成課題（「表現の形態～論文を書くこと」）の印刷	2	配布資料「表現の形態～論文を書く1 ノートを整理し、新たに学んだこと2
第15回	課題レポートの準備	・ 課題レポート（小論文）について	2	課題レポート（小論文）を執筆する1 配布資料「表現の形態～論文を書く」16

担当者から

・ 毎回実習を伴う授業ですので、授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し、実習内容を習得しておくことが必要不可欠です。

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護b）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130080	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報処理技術を習得することは、日常生活に資するだけでなく、大学で学び研究する上で必要不可欠なものです。本授業では、高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、文書作成処理技術など）や情報倫理について説明する。具体的には、レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる。そして情報倫理についても理解を深める。
- (2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること（20%）。
上記以外	40	毎回の授業において、受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業への参加度をチェックし評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・ テキストに代わる授業資料を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと。

履修資格

講義名	情報科学概論（看護a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130180	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。重回帰分析ができ、その結果について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標に示す(1)～(3)について課題レポート(40%)を課し、評価する。
上記以外	60	毎回の授業において、受講生には到達目標項目についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業への参加度をチェックし評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル(浅井・村上 訳)	培風館	978-4-563008390
2				
3				

・ テキストの内容にそって要点をまとめた「講義資料」を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4-478-02221-4
3				

前提学力等

全学共通科目「情報リテラシー」が履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論 (看護a)							担当教員	森 将豪
講義コード	1130180	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業計画									
回数	テーマ	概要				予習 / 復習			
第1回	データサイエンスの概略	ビッグデータ・AI と統計学 母集団と標本という考え方および標本抽出法				2	統計的方法 (母集団と標本) という ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第2回	データの整理と可視化	離散型変数と連続型変数 度数分布表によるデータの整理とヒストグラム等での可視化				2	「講義資料 (第 1 回)」と「講義資料 (第 2 回)」 ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第3回	代表値と散布度 (1)	データの中心位置を記述する代表値としての平均, 中央値, 最頻値, 四分位数				2	「講義資料 (第 3 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第4回	代表値と散布度 (2)	データのバラツキ尺度を記述する散布度としての分散, 標準偏差				2	「講義資料 (第 4 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第5回	正規分布 (1)	平均と分散の 2 つの母数をもつ代表的かつ中心的な確率分布 一般正規分布と標準正規分布				2	「講義資料 (第 5 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第6回	正規分布 (2)	標準化変換による Zスコアと標準正規分布表に基づく確率の計算方法				2	「講義資料 (第 6 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第7回	二項分布と正規分布近似	二項分布, 二項分布の平均と標準偏差, 正規分布近似				2	「講義資料 (第 7 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第8回	母数推定 (1)	母集団の特性値の推定, 点推定, 不変推定値, 中心極限定理				2	「講義資料 (第 8 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第9回	母数推定 (2)	母集団の特性値の推定, 区間推定 (値), 信頼係数, 信頼区間				2	「講義資料 (第 9 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第10回	仮説検定 (1)	統計的仮説検定の基本的な考え方とパラメトリックな検定, 帰無仮説, 有意水準				2	「講義資料 (第 10 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第11回	仮説検定 (2)	ノンパラメトリックな検定, カイ二乗分布				2	「講義資料 (第 11 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第12回	2 変量データと散布図	2 変量データの関係を示す指標である共分散, 相関係数, および散布図による可視化				2	「講義資料 (第 12 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第13回	相関分析	相関関係, 相関係数の有意性の検定および信頼区間の推定				2	「講義資料 (第 13 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第14回	回帰分析	原因と結果を線形モデルで説明する回帰直線の推定と予測, 最小二乗法, 単回帰分析・重回帰分析				2	「講義資料 (第 14 回)」を熟読して ノートを整理し, 新たに学んだこと		2
第15回	総括	情報科学概論の総括 (まとめ), 国家試験 (保健統計) 問題の傾向				2	「講義資料 (第 15 回)」を熟読して 「講義資料 (第 1 回)」から「講義資料 (第 15 回)」まで		2
担当者から									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回実習を伴う授業ですので, 授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し, 実習内容を習得しておくことが必要不可欠です. ・ 授業を欠席した場合は, その日の授業内容を友人に必ず尋ねて理解し, 次の授業までに習得しておくこと. 									

講義名	情報科学概論（看護b）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130190	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。重回帰分析ができ、その結果について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標に示す(1)～(3)について課題レポート(40%)を課し、評価する。
上記以外	60	毎回の授業において、受講生には到達目標項目についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業への参加度をチェックし評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル(浅井・村上 訳)	培風館	978-4-563008390
2				
3				

・ テキストの内容にそって要点をまとめた「講義資料」を適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4-478-02221-4
3				

前提学力等

全学共通科目「情報リテラシー」が履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論（看護b）							担当教員	森 將豪		
講義コード	1130190	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義				
ナンバリング番号	1011NF101										

授業計画												
回数	テーマ	概要							予習/復習			
第1回	データサイエンスの概略	ビッグデータ・AI と統計学 母集団と標本という考え方および標本抽出法							2	統計的方法（母集団と標本）という ノートを整理し、新たに学んだこと		
第2回	データの整理と可視化	離散型変数と連続型変数 度数分布表によるデータの整理とヒストグラム等での可視化							2	「講義資料（第1回）」と「講義資 ノートを整理し、新たに学んだこと		
第3回	代表値と散布度(1)	データの中心位置を記述する代表値としての平均、中央値、最頻値、四分位数							2	「講義資料（第3回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第4回	代表値と散布度(2)	データのバラツキ尺度を記述する散布度としての分散、標準偏差							2	「講義資料（第4回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第5回	正規分布(1)	平均と分散の2つの母数をもつ代表的かつ中心的な確率分布 一般正規分布と標準正規分布							2	「講義資料（第5回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第6回	正規分布(2)	標準化変換によるZスコアと標準正規分布表に基づく確率の計算方法							2	「講義資料（第6回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第7回	二項分布と正規分布近似	二項分布、二項分布の平均と標準偏差、正規分布近似							2	「講義資料（第7回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第8回	母数推定(1)	母集団の特性値の推定、点推定、不変推定値、中心極限定理							2	「講義資料（第8回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第9回	母数推定(2)	母集団の特性値の推定、区間推定(値)、信頼係数、信頼区間							2	「講義資料（第9回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第10回	仮説検定(1)	統計的仮説検定の基本的な考え方とパラメトリックな検定、帰無仮説、有意水準							2	「講義資料（第10回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第11回	仮説検定(2)	ノンパラメトリックな検定、カイ二乗分布							2	「講義資料（第11回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第12回	2変数データと散布図	2変数データの関係を示す指標である共分散、相関係数、および散布図による可視化							2	「講義資料（第12回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第13回	相関分析	相関関係、相関係数の有意性の検定および信頼区間の推定							2	「講義資料（第13回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第14回	回帰分析	原因と結果を線形モデルで説明する回帰直線の推定と予測、最小二乗法、単回帰分析・重回帰分析							2	「講義資料（第14回）」を熟読して ノートを整理し、新たに学んだこと		
第15回	総括	情報科学概論の総括(まとめ)、国家試験(保健統計)問題の傾向							2	「講義資料（第15回）」を熟読して 「講義資料（第1回）」から「講義		

担当者から

- ・ 毎回実習を伴う授業ですので、授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し、実習内容を習得しておくことが必要不可欠です。
- ・ 授業を欠席した場合は、その日の授業内容を友人に必ず尋ねて理解し、次の授業までに習得しておくこと。

講義名	人間探求学(人間看護)						担当教員	学科教員/横井 和美/古株 ひろみ/ 甘佐 京子/古川 洋子/米田 照美/ 牧野 耕次/荒川 千登世/糸島 陽子/
講義コード	1150340	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。
授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ(5~6名)に分け、担当教員が割り当てられる。

到達目標

- (1) 自ら探求したテーマについて、論理的にレポートできる
- (2) 探求したことや自らの考えについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく説明することができる
- (3) 社会人としての基本的な態度を養うことができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	40	(1) レポート課題: 40% 取り上げたテーマに関して、図書情報センター等を利用し必要な文献等を探することができる。引用文献・参考文献等を明示し、自らの意見と区別して論じている。
上記以外	60	(2) プレゼンテーション: 40% 発表資料作成に向けて、主体的・積極的に学び取り組む姿勢がみられる。 発表では、聴衆・受け手の関心・注意を引いてアピールできている。

*なお、無断欠席および遅刻/早退は減点方式とし、1回欠席で-8点、遅刻/早退は-4点とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介、または資料配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（人間看護）					担当教員	学科教員／横井 和美／古株 ひろみ／ 甘佐 京子／古川 洋子／米田 照美／ 牧野 耕次／荒川 千登世／糸島 陽子／	
講義コード	1150340	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業計画								
回数	テーマ	概要		予習／復習				
第1回	ガイダンス 研究倫理について	・授業概要、到達目標、授業方法について、ガイダンスを受ける。 ・大学で学ぶことの意義付け、人生における位置付け等について考え	2	入学オリエンテーションにて配布さ ガイダンスにて配布された資料や講	2			
第2回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・教員や他の学生のもの見方、考え方に直接触れ、触発される機会とする。	2	なし。 各グループにて出される課題に取り	4			
第3回	図書館ガイダンス	・学術的な文章を読む、資料を探す技術を身につける。	2	大学HPの「図書館」に関する情報を 参考図書や文献、論文を探ることが	2			
第4回	講義 - レポートの書き方 -	・和文作文法について理解を深める。	2	担当教員より指示された資料や文献 授業にて課された課題について取り	2			
第5回	講義 - プレゼンテーション -	・和文作文法について理解を深める。	2	担当教員より指示された資料や文献 授業にて課された課題について取り	2			
第6回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・教育の原点である人間と人間のふれあいの機会をつくる。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第7回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・取り上げたテーマについて、自ら探求しレポートにまとめる。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第8回	人権研修	・人権感覚を磨く。	2	なし。 講義内容を聞き、課された課題に取り	4			
第9回	マナーセミナー	・社会人としての基本的な態度を養う。	2	なし 社会人としての態度、さらに看護学	4			
第10回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・取り上げたテーマについて、自ら探求しレポートにまとめる。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第11回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・探求したことについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく伝える。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第12回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・探求したことについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく伝える。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第13回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・探求したことについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく伝える。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第14回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・ディスカッションによって、他者の考えを尊重・傾聴した上で意見交換する。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
第15回	各教員が、以下のことをねらいとして独自の	・ディスカッションによって、他者の考えを尊重・傾聴した上で意見交換する。	2	各グループにて出される課題に取り 各グループにて出される課題に取り	2			
担当者から								

講義名	母性看護学概論						担当教員	千葉 陽子
講義コード	1500061	単位数	1	開講期	後期前半	授業方法	講	
ナンバリング番号	141NUR227-C							

授業概要

本科目では、男女のリプロダクティブヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康・権利）についての知識を基盤として、ライフサイクル各期の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴を踏まえた上で、女性やその家族を支援するための看護について教授する。また特に、母性看護に関連する諸概念、人の性と生殖のメカニズムとその意義、母性保健の動向や母子保健施策についても教授する。

到達目標

- (1) 母性看護に関連する諸概念と母性看護の役割が理解できる。
- (2) 母性を取り巻く環境、母子保健の動向と施策が理解できる。
- (3) 人の性と生殖のメカニズムとその意義が理解できる。
- (4) セクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (5) 女性のライフステージやライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	定期試験で総合的に評価する。 到達目標(1)20%、(2)20%、(3)20%、(4)20%、(5)20%
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業中にはしっかりとメモやノートを取り、学びや自分の考えをしっかりとまとめていってください。また予習・復習にも積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学 母性看護学概論	森 恵美他	医学書院	
2				
3				

教科書は最新版を使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学 母性看護学各論	森 恵美他	医学書院	
2	成人看護学 女性生殖器	末岡 浩他	医学書院	
3				

授業中に適宜紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学						担当教員	渡邊 友美子 / 古川 洋子 / 越山 雅文 / 濱野 裕華
講義コード	1500062	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR228							

授業概要

1. 周産期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、説明することができる
2. 周産期にある対象の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる
3. ハイリスク状態にある対象者の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる
4. 周産期にある対象への社会的サポートシステムについて理解し、説明することができる
5. 周産期の代表的な疾患について理解し、説明することができる。

到達目標

1. 周産期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、説明することができる。
2. 周産期にある対象の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる。
3. ハイリスク状態にある対象者の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる。
4. 周産期にある対象への社会的サポートシステムについて理解し、説明することができる。
5. 周産期の代表的な疾患について理解し、説明することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	85	評価比率は、到達目標1 (30%)、到達目標2 (25%)、到達目標3 (20%)、到達目標4 (15%)、到達目標5 (10%) とし、定期試験85点、レスポンスペーパー15点の合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
レポート課題		
上記以外	15	授業への参加度 (15%)

1/3以上欠席した場合は評価対象外とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統学看護学講座 専門分野 母性看護学各論母性看護学	森恵美他	医学書院	978-4-260-01374-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

前提学力等

母性看護学概論を履修していることが望ましい
「体の仕組みと機能 . . . 」の女性生殖器官の形態について理解していること。

履修資格

講義名	母性看護学実習						担当教員	渡邊 友美子 / 古川 洋子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華
講義コード	1500064	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

ライフサイクルにおける女性と子どもおよび家族の身体的、心理的、社会的特徴を総合的に理解し、母性看護を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。

到達目標

- (1) 周産期における対象の特性および必要な看護が理解できる。
- (2) 母性看護に必要な看護援助が実践できる。
- (3) 対象の看護上の問題および課題を明確にし、看護過程を展開できる。
- (4) 生命の神秘・尊厳について理解を深め、生命倫理について考えることができる。
- (5) 自己の親性(母性性・父性性)への考えを深めることができる。
- (6) 周産期看護の役割や機能を知り、家族看護・継続看護の重要性について理解を深めることができる。
- (7) 性と生殖に関する健康の維持・増進・疾病予防を基盤とし、次世代を育成する支援について理解できる。
- (8) 看護者の一員として責任ある行動をとり、主体性と協調性を持って実習に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習到達目標達成状況で評価する。 評価比率は、(1)実習記録、面接法15%、(2)実習記録、観察法15%、(3)実習記録、面接法10%、(4)実習記録、面接法10%、(5)実習記録10%、(6)実習記録、面接法15%、(7)実習記録、面接法15%、(8)実習記

母性看護学実習 実習要項の評価及び評価基準の項を参照すること。

授業外学習

1. 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特徴について学習する。
2. 基礎看護技術および、母性看護に必要な技術(レオポルド触診法、腹囲子宮底測定、胎児心音聴取、産痛緩和法、産褥期対象の観察、授乳観

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護技術(第2版)	石村由利子編集	医学書院	
2	母性看護過程(第2版)	佐世正勝 / 石村由利子編集	医学書院	
3	新生児学入門(第4版)	仁志田博司	医学書院	

授業で使用した資料や参考図書等

前提学力等

履修資格となる修得科目の学習内容が習得できている。

履修資格

講義名	母性看護学実習					担当教員	渡邊 友美子 / 古川 洋子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華	
講義コード	1500064	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習
第1回	オリエンテーション	実習要項を参照。 (1)実習場所：長浜赤十字病院、東近江総合医療センター、大津赤	2	翌日の実習内容に則した対象の看護2 母性看護学実習で課題となっている2

担当者から

各自、実習時期を確認し、事前に準備をすすめてください。準備に当たり、質問や疑問は担当教員へ問い合わせてください。

講義名	疫学						担当教員	趙 林 / 本田 可奈子
講義コード	1500080	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR325							

授業概要

医学・医療の世界では医学推計学は必須の学問になっている。疫学はある集団を対象として健康の事象・疾病頻度とその分布を観察し、その原因を究明する学問である。本講座は臨床研究を含む社会健康医学領域において、最も基本となる疫学の考え方、方法論についての入門的な講義を行う。受講者は将来、看護師または保健師として現場で働くときに役立つ疫学について学習する。

到達目標

- (1)疫学的研究方法（横断研究・縦断研究・症例対照研究・介入研究）について理解し、学術論文をcriticalに読む力を身につける。
- (2)疫学の導き出した健康に関する多くのエビデンスを知り、人々の命や健康に役立てる礎をつくる。
- (3)保健統計の用語などの意味や重要性などを理解する。
- (4)多様な医療統計技法に触れ、科学的論考につながる視点をもつ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	用語の意味を理解し、データを分析し読み取る能力
レポート課題	0	
上記以外	30	授業への積極参加、授業時の小テスト、演習問題の成績。

演習問題を解くときは学生同士で議論して解答することを勧めます。

授業外学習

なるべく分からないまままで講義を終わらないで、講義中に質問して解決すること。
疫学は暗記する学問ではなく考える学問であるので、講義中にしっかり考えられるように予習、復習をすすめる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計学(第3版)	牧本清子 他	医学書院	978-4-260--01998-9
2				
3				

初回授業に必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エビデンスにもとづく公衆衛生学 WEB連動テキスト	城憲秀・宮下和久・武田眞太郎共編著	培風館	978-4-563-07366-4 C3077
2				
3				

前提学力等

統計の用語について基礎知識を有することが望ましい。

履修資格

講義名	疫学						担当教員	趙 林 / 本田 可奈子		
講義コード	1500080	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	241NUR325									

授業計画										
回数	テーマ	概要		予習/復習						
第1回	疫学 の 概念	疫学 の 歴史的 な 事例 から 疫学 の 意義 や 目的 を 学ぶ		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第2回	集団 の 健康 状態 の 把握	健康 状態 を 把握 す る 指標 (有病 率、 罹患 率、 リスク、 死亡 率) に つい て 学 び、 標準 化 し て 比較 す る 方法 を 学 ぶ		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第3回	疫学 的 研究 方法	疫学 研究 の 種類 に つい て 学 ぶ		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第4回	疫学 的 研究 方法	1. 観 察 研究		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第5回	疫学 的 研究 方法	2) 分 析 疫 学		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第6回	疫学 的 研究 方法	2. 介 入 研究		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第7回	疫学 的 研究 方法	デ ザ イ ン の 種類		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第8回	疫学 的 研究 方法	疫学 研究 に お け る		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第9回	疾病 の 予防 と ス ク リー	1) 信 頼 性 と 妥 当 性		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第10回	ニ ング	1. 予 防 の 3 段階		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第11回	感 染 症 の 疫 学	2. ス ク リー ング 検 査 の 評価		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第12回	主 な 疾 患 の 疫 学	1. 感 染 症 の 基礎		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第13回	主 な 疾 患 の 疫 学	2. 主 な 感 染 症 と 法 律		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第14回	保 健 統 計 学	疾 病 登 録		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
第15回	保 健 統 計 学	意義 と 目的		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		1. 心 疾 患		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		2. 脳 血 管 疾 患		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		1. データ の 種類 と 分 布		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		2. 情報 の 特徴 (代 表 値、 散 布 度) を 知 る		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		4. 統 計 分 析 - 平均 値 の 比較 と t 検 定		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		対 応 の ある 2 群 の 比較		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		1. 人口 動 態 統 計 と 人口 静 態 統 計		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		2. 保 健 統 計 調 査		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		1. 情報 処 理 の 基礎		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		2. 保 健 医 療 情報 の 収 集		2	テキスト で テーマ の 範囲 を 読み 込 ん	2	本日 の 授業 を 振り 返 り、 学 び を 整理			
		ま と め		2	全 授 業 に つい て 振り 返 り、 疑問 点 が	2	全 授 業 の 学 び を 整理 す る。			2
担当者から										

講義名	エンドオブライフケア演習/						担当教員	小野 あゆみ / 糸島 陽子 / 喜多下 真里
講義コード	1500081	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	341NUR303							

授業概要

エンドオブライフにある人々の全人的苦痛と家族（重要他者）が抱える苦悩を知り、エンドオブライフケアを展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフケアを学ぶ中で、自己の死生観について考え、死に逝く人々とその家族に向き合える基本的態度を養う。

到達目標

- (1) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する苦痛緩和のための基本的な看護が理解できる。
- (2) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する深い洞察力、悲嘆などの感情に寄り添う態度を養うことができる。
- (3) エンドオブライフケアを実践するチーム医療、多職種と協働する姿勢、エンドオブライフケアを実践する医療者の役割と責任を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	
レポート課題	40%	
上記以外	10%	

評価基準の詳細は、初回授業時に提示します。
グループワークを含む「演習」なので、参加を前提とします。

授業外学習

初回授業時に、2年次「成人看護学」で提示されている図書（おもかげ復元師またはエンジェルフライト）について、レポートを作成し提出してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新体系 看護学全書 経過別成人看護学 終末期看護：エンドオブライフケア		メヂカルフレンド社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA-I 看護診断 定義と分類	T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく 看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	
3	江川隆子のかみくだき看護診断	江川隆子	日総研出版	

そのほか、講義時に紹介します

前提学力等

成人看護学を履修していること

履修資格

講義名	エンドオブライフケア演習/							担当教員	小野 あゆみ / 糸島 陽子 / 喜多下 真里		
講義コード	1500081	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習				
ナンバリング番号	341NUR303										

授業計画											
回数	テーマ	概要							予習/復習		
第1回	人生の最期を迎える人への看護	「ハービー安らかに」を視聴して、人生の最期を迎える人の看護について考える。							2時	『成人看護学概論』『成人看護学』 30	
第2回	看護過程の展開	看護過程の展開についての説明、および事例を紹介する。							2時	看護過程(情報整理・アセスメント)事例の情報整理とアセスメント、関 75	
第3回	看護過程の展開	事例の看護過程の展開をとおして、エンドオブライフにある人の身体的苦痛について理解する。							2時	関連図の作成、身体的苦痛のアセス 15 関連図およびアセスメントを追加・ 30	
第4回	緩和医療について	緩和ケア医から最新の終末期医療の現状と課題について講義を受け、終末期医療について考える。							2時	緩和医療について調べ、レポートを 20 本時の学びと要点を整理する。 30	
第5回	看護過程の展開	事例の看護過程をとおして、エンドオブライフにある人の精神的・社会的・霊的苦痛について理解する。							2時	関連図の追加および、精神的・社会 15 関連図およびアセスメントを追加・ 30	
第6回	緩和ケアについて	緩和ケア認定看護師から最新エンドオブライフケアの現状と課題について講義を受け、エンドオブライフケアについて考える。							2時	緩和ケアについて調べ、レポートを 20 本時の学びと要点を整理する。 30	
第7回	看護過程の展開	事例患者の看護計画を立案するにあたって、計画記載のポイントを理解する。							2時	関連図およびアセスメントを見直 10 看護計画を作成する。 50	
第8回	多職種連携と看護の役割	講義をとおして、エンドオブライフケアにおける多職種連携の必要性を理解し、看護の役割を考える。							2時	講義の内容をふまえて、指定される 0 30	
第9回	エンドオブライフにある人とのコミュニケー	ロールプレイングをとおして、エンドオブライフにある人とのコミュニケーションについて考える。(第9、10回)							2時	0 講義・演習での学びを整理し、課題 2	
第10回	エンドオブライフにある人とのコミュニケー	ロールプレイングをとおして、エンドオブライフにある人とのコミュニケーションについて考える。(第9、10回)							2時	0 講義・演習での学びを整理し、課題 2	
第11回	看取りのケア	遺体の変化、看取り時のケア、家族・遺族ケアについて考える。また、模擬患者および家族(重要他者)への臨終時のケアをとおして、							2時	看護展開の事例の再確認を行い、 10 講義・演習での学びを整理し、看取 45	
第12回	看取りのケア	遺体の変化、看取り時のケア、家族・遺族ケアについて考える。また、模擬患者および家族(重要他者)への臨終時のケアをとおして、							2時	看護展開の事例の再確認を行い、 10 講義・演習での学びを整理し、看取 45	
第13回	看護過程の展開	各グループからの看護計画の発表をとおして、エンドオブライフにある人とその家族(重要他者)に必要な看護を理解し、具体的な援助方							2時	グループ単位で作成された看護計画 15 グループ単位で発表した計画への意 30	
第14回	看護過程の展開	各グループからの看護計画の発表をとおして、エンドオブライフにある人とその家族(重要他者)に必要な看護を理解し、具体的な援助方							2時	グループ単位で作成された看護計画 15 グループ単位で発表した計画への意 30	
第15回	看護過程の展開(計画発表のフィードバック)	グループ単位での計画発表に対するフィードバックを受け、自身の看護過程の展開の見直しを行う。また、実習に向けて自己の課題を見出							2時	15 自身の看護過程の展開を見直し、追 30	
担当者から											
授業の順番・スケジュールについては、変更の可能性があります。詳細はその都度、授業時に説明していきます。											

講義名	エンドオブライフケア実習/						担当教員	喜多下 真里/糸島 陽子/中川 美和/ 小野 あゆみ/生田 宴里/片山 将宏
講義コード	1500082	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	341NUR306							

授業概要

エンドオブライフにある人々の身体的・精神的・社会的・霊的特徴、および、その家族（重要他者）の特徴を統合的に理解して、エンドオブライフケアを実践するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフにある人々とその家族との出会いをとおして、人間の尊厳、QOL、生と死について洞察し、自己の死生観と看護観を養う。

到達目標

- (1) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の全人的苦痛を説明できる。
- (2) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の意思を尊重した援助的人間関係を説明できる。
- (3) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の「苦痛」に関連した主観的・客観的情報を、論理的・科学的にアセスメントし、個別的な看護計画が立案できる。
- (4) 受け持ち患者の意思を尊重しながら、苦痛を緩和するための安全かつ安楽な援助について説明できる。
- (5) 実施した看護に対し、客観的に評価できる。
- (6) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)について、緩和ケアチームの一員として、連携の重要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 実習記録

成績評価の詳細は、「エンドオブライフケア実習評価表」を参照すること。
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2(可)」以上を必要とする。

授業外学習

事前学習については、実習要項を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年前期までの専門科目(実習を含む)・専門基礎科目における必修科目の単位をすべて修得

履修資格

講義名	エンドオブライフケア実習/					担当教員	喜多下 真里 / 糸島 陽子 / 中川 美和 / 小野 あゆみ / 生田 宴里 / 片山 将宏		
講義コード	1500082	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号	341NUR306								

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	エンドオブライフケア実習	詳細は実習要項を参照すること					90時				
担当者から											

講義名	家族看護学						担当教員	大脇 万起子
講義コード	1500083	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR320							

授業概要

家族を単に対象者を取り巻く背景として捉えるのではなく、家族機能をシステムとして捉え、個人及びその家族が持っているセルフケア能力を高める援助の方法について論じる。
さらに、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する援助のあり方を講義およびグループワーク（事例検討、事例作成・役割演技）を通して学ぶ。

到達目標

- (1) 家族看護に関する主な理論やモデルについて理解する。
- (2) 家族看護過程（アセスメント・診断・計画・方法・評価）に関する基本的な知識を習得する。
- (3) 患者家族と向き合うための基本的な姿勢・コミュニケーション技術を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	1. 到達目標(1)・(2)（各30%、計60%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
レポート課題	15%	1. 到達目標(3)（15%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
上記以外	25%	1. 小テスト（毎回提出：Formsによる） 到達目標(1)・(2)・(3)（各5%、計15%）に関して実施 2. グループワーク評価

詳細はルーブリック（添付文書）に記載。

授業外学習

授業でのグループ学習やレポート作成を円滑にするため、個人およびグループでの予習・復習を積極的にお願います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 別巻 家族看護学	上別府圭子 他	医学書院	978-4-260-03192-9
2				
3				

毎回、授業に持参して下さい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	癒しのための家族看護モデル 病いと苦悩、スピリチュアリティ	森山 美知子 他 訳	医学書院	978-4260000949
2	ピリーフ 家族看護実践の新たなパラダイム	杉下知子 他 訳	日本看護協会出版会	978-4818009165
3	新しい家族看護学 理論・実践・研究	法橋尚宏 他	メヂカルフレンド社	978-4839213558

上記以外については、配布プリントの中で紹介します。

前提学力等

事例作成を行って頂きますので、2年生までに学ばれた各領域の医学的知識が必要となります。

履修資格

講義名	解剖生理学						担当教員	坪井 宏仁
講義コード	1500105	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	141NUR201							

授業概要

人体のしくみと機能に関する知識は看護学を習得するための重要な基礎となる。本講は、人体の構造（解剖学）とその機能（生理学）を統合的に学ぶことを目的とする。正常な構造と機能の理解は疾患や障害の理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠である。本講では、人体の各器官系について、発生と関連づけながら個々の細胞・組織・器官とその機能に関する内容を取り上げ、個々の知識を人体の全体像と関連付けて理解することを目指す。また、臨床と関連づけて学ぶことにより、生きた解剖生理学の知識が定着するよう講義する。解剖生理学Iでは、1) 解剖生理学の全体像を概説し、続いて2) 消化器系、3) 呼吸器系、4) 循環器系、5) 血液について学ぶ。

到達目標

- (1) 細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。
- (2) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (3) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	選択または穴埋め問題 25問 (2点 × 25 = 50) 記述問題 2問 (10点 × 2 = 20)
レポート課題	20	正確な記述を重視する
上記以外	10	一部グループ発表による演習形式を導入する

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。
学期途中にレポート2回の提出を求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	解剖生理学							担当教員	坪井 宏仁
講義コード	1500105	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講		
ナンバリング番号	141NUR201								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	解剖生理学概説 (1)	細胞から組織へ (細胞の構造と機能、組織の分類)	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第2回	解剖生理学概説 (2)	構造からみた人体	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第3回	解剖生理学概説 (3)	機能からみた人体、初期発生の概説	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第4回	消化器系 (1)	口腔・咽頭・食道・胃	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第5回	消化器系 (2)	小腸と大腸	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第6回	消化器系 (3)	肝臓・胆嚢・膵臓	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第7回	消化器系 (4)	消化管の機能、腹膜、消化管の発生	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第8回	呼吸器系 (1)	上気道の構造	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第9回	呼吸器系 (2)	肺の構造	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第10回	呼吸器系 (3)	呼吸の調節	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第11回	循環器系 (1)	心臓の構造	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第12回	循環器系 (2)	心臓の機能	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第13回	循環器系 (3)	末梢循環系 (血管とリンパ管)	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第14回	循環器系 (4)	血液循環の調節、血液循環の異常	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2
第15回	血液	赤血球・白血球・血小板、血液凝固のしくみ、生体防御に働く白血球	2	テキストの授業範囲を読み込む 用語を整理し、理解できていない事	2 2

担当者から					

講義名	解剖生理学						担当教員	越山 雅文 / 坪井 宏仁
講義コード	1500115	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR202							

授業概要

解剖生理学(Ⅰ)に引き続き、人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学ぶ。本講では、前期の解剖生理学(Ⅰ)に引き続き、泌尿器系、内分泌系、運動器系、神経系、感覚器系、生殖器系を取り上げ、外的環境への適応、内的環境の維持調節、生殖のしくみを中心に学ぶ。また、老化、疾患についても触れる。

到達目標

- (1) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (2) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。
- (3) 人体の発生、成長、成熟、老化の概要を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問(2点X25 =50) 記述問題 2問(10点X2 =20)
レポート課題	10	1回 10点
上記以外	20	小試験 選択問題 20問(1点X20 =20)

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。学期中に1回のレポート提出を求め、1回の小試験(中間試験)を予定している。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井・岡田	医学書院	9784260031714
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	解剖生理学						担当教員	越山 雅文 / 坪井 宏仁	
講義コード	1500115	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	141NUR202								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	泌尿器系 (1)	腎臓と尿路の構造と機能	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第2回	泌尿器系 (2)	体液の調節 (水分水筒、酸塩基平衡、電解質の調節)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第3回	内分泌系と体温調節 (1)	内分泌総論、各内分泌臓器とホルモン	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第4回	内分泌系と体温調節 (2)	ホルモンによる生体機能の調節、体温調節のしくみ	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第5回	運動器系 (1)	運動器総論 : 骨格と骨格筋の概要	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第6回	運動器系 (2)	運動器各論 (1) : 上下肢の運動と骨格・筋	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第7回	運動器系 (3)	運動器各論 (2) : 頭頸部の筋、筋収縮のしくみ	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第8回	神経系 (1)	神経系概説 (神経系の区分、神経系を構成する細胞、中枢神経を取り巻く環境)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第9回	神経系 (2)	中枢神経系各論 (脊髄、脳幹、小脳、間脳、大脳の構造と機能)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第10回	神経系 (3)	末梢神経系の解剖学 (脳神経、脊髄神経、自律神経系)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第11回	神経系 (4)	神経伝導路 (運動路、体性感覚路、視覚路など) と高次脳機能	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第12回	感覚器系 (1)	眼の構造と視覚のしくみ	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第13回	感覚器系 (2)	聴覚・味覚・嗅覚・体性感覚のしくみ	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第14回	生殖器系 (1)	男性生殖器の構造と機能 (越山)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
第15回	生殖器系 (2)	女性生殖器の構造と機能 (越山)	2	テキストにて授業範囲を予習。 配布資料にて復習。 0.0.
担当者から				

講義名	看護英語/						担当教員	坪井 宏仁 / 牧野 耕次 / 中川 美和 / 生田 宴里 / 岡本 紀子 / 横山 詞果
講義コード	1500121	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR328							

授業概要

看護師という職業は、その専門性の高さから、日本だけでなく海外でも活躍の場が広がっている。また、社会の国際化に伴って、日本国内でも今後ますます看護英語が重要になっていくものと思われる。本講義では、これまでに学んできた英語と看護学の知識を基盤にして、入院から退院まで、看護現場で用いられる臨床看護英語の基礎を学ぶとともに、海外留学体験の講義などを通して看護英語の実際に触れる。

到達目標

- (1) 看護に必要な基礎的な英語医学用語を修得する。
- (2) 実際の医療現場における会話 (CD, DVD) の視聴などを通して、生きた英語表現を学ぶ。
- (3) 海外留学体験の講義などを通して、国際的な活動に目を向け、視野を広げる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じてプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	看護英語実践						担当教員	牧野 耕次 / 中川 美和 / 生田 宴里
講義コード	1500123	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

海外の語学学校等が主催する英語クラスを受講し、当該市周辺の病院や医療施設を見学するなど研修に参加することで、海外の医療や教育システムを学ぶ。また、ホームステイをすることにより、海外での生活や文化を体験する。また、現地の学生と交流をもち、今回の研修では、英語力の向上と、オーストラリアの医療について学ぶとともに、日本の医療制度との違いについても理解を深める。
(2018年度研修先：アメリカポートランド、2019年度研修先：オーストラリアメルボルン)

到達目標

- (1) 海外の病院・施設の見学やそこで働くスタッフとの意見交換を通じて、海外の医療・治療、医療システムや医療に関する教育システムについて学ぶ。
- (2) ホームステイをすることにより、海外の生活や文化について学ぶ。また、出来る限り英語に接する機会を持ち、語学力の向上を図るとともに異文化理解を深める。
- (3) 英語を用いて生活し、現地の学生と交流することにより、英語力能力を向上させる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	事前学習、研修記録、最終レポート
上記以外	50	研修への参加

出発前の事前学習、研修のオリエンテーションへの参加も評価に含む。
オリエンテーションに参加しなかった場合は、研修に行けない場合もある。

授業外学習

常に海外、特にオーストラリアのニュースやトピックスなどで状況や情勢を把握しておくこと。
海外やオーストラリアではどのようなになっているのかという視点を持って、他の授業を受けること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

オリエンテーションにて、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

オリエンテーションにて、資料を配布します。

前提学力等

履修資格

講義名	看護英語実践						担当教員	牧野 耕次 / 中川 美和 / 生田 宴里
講義コード	1500123	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業計画

ホームステイ：オーストラリアの文化に触れる。オーストラリアの人々のヘルスケア行動の実際を知る。
 オーストラリアのヘルスケアシステムの講義：・保険制度について。看護師の給料、労働環境、ライセンス取得と更新、専門看護師、病院の災害対応などについて、講義を受ける
 医療・福祉関連等の施設見学：救急病院や総合病院、ホスピス、高齢者施設など見学する。
 英語レッスン：現地の語学学校で実力に応じてクラスに分かれ、他国からの留学生であるクラスメイトとともにディスカッションをすることで実践的な英語を学ぶ

担当者から

看護専門選択科目1単位となります。
 対象学年は1～4年生です。

講義名	生化学						担当教員	若林 保良
講義コード	1500125	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR203							

授業概要

生化学は、生命を化学物質の変化として理解する分野です。体内での化学物質の変化を「物質代謝」といいます。「物質代謝」を見る目で人間を理解し、健康や病気を理解することが目的です。様々な病気のメカニズムを科学的に考察できるようになり、医療者として柔軟で広い視野を持つことができます。

最初に体を作る化学物質「生体分子」の構造と性質を学びます。次にそれを維持するのに必要な、「物質代謝」の経路とその調節を学びます。生体分子の合成と分解の中心である「酵素」を学び、エネルギーの担い手ATP、糖質、脂質、アミノ酸、ヌクレオチドなどの合成と分解を学びます。遺伝子の複製と発現、タンパク質の合成について学習します。ホルモンについても触れます。

講義は教科書に沿って、各章の中心課題にポイントを絞ります。浅く、広く、全体をおおまかに理解することを目指します。患者さんから質問された時、説明して分かってもらえる準備だと思っていただければ良いです。生化学は解剖学や臨床医学と違って、化学物質は目に見えないので、頭の中にイメージを作ることが必要です。それには毎回の予習復習が必要です。特に毎回20分で良いので復習してください。

到達目標

(1)食品の持つカロリーには血糖を上昇させるものとさせないものがある。(2)ビタミンDやナイアシンは人体で作ることのできるビタミンである。(3)プロスタグランジンは発熱や頭痛の原因物質でもある。(4)抗がん剤にはヌクレオチドや核酸の合成を邪魔するものが多い。(5)善玉コレステロールも悪玉コレステロールもどちらも必要である。(6)運動しないと太るのはなぜ、それは電子伝達系が停止するから。(7)両親媒性物質が細胞の形を作る。(8)酵素活性の調節の仕方を説明できる。(9)ビタミンの役割を説明できる。(10)ケトン体が増えるのはどんな時か説明できる。(11)黄疸の黄色はヘムから作られる。(12)遺伝子発現の調整の仕方、遺伝疾患、などにつき、患者さんに説明できる。(12)採血検査の結果を見て、どの臓器の病気が判断できる。尿酸を減らすためにどうすれば良いか説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	全問、5者択一形式の出題により、客観的に採点します。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

講義が始まる前に、教科書に短時間目を通して、どのような用語が出てくるのか見ておいて下さい。特に20分の復習を習慣づけて下さい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生化学 人体の構造と機能 2 (系統看護学講座 専門基礎分野)	三輪 一智	医学書院	978-4260018364
2				
3				

分かり易く、詳細な記述で、定評のある教科書です。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マンガでわかるゲノム医学 ゲノムって何?を知って健康と医療に役立てる	水島-菅野 純子	羊土社	978-4758120876
2				
3				

ゲノム医学(遺伝子からみた医学)の身近なテーマを、楽しいマンガと文章で、とても分かり易く語っている良書です。マンガと言っても、手抜き

前提学力等

原子、分子、電子、化学結合、酸化と還元、細胞の構造など、高校の化学や生物の教科書の最初の2,3ページに書かれている基本的な事項について自習しておいて下さい。

履修資格

講義名	看護管理学						担当教員	米田 照美
講義コード	1500129	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

看護をしくみとして捉えて、どうすればより良い看護を対象者により良い看護サービスを提供できるかを追求することは看護管理者だけの役割ではなく、すべての看護職（看護を学ぶ人も含む）に必要な能力である。そのためにすべての看護職は看護実践のみならず、看護マネジメントのための知識・技能が必須である。本科目では、看護におけるマネジメントの考え方・変遷、マネジメントの基本的な知識・技術、看護ケアマネジメント、看護サービスマネジメント、看護職のキャリアマネジメント、看護を取り巻く諸制度について概説する。

到達目標

- (1) 現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状、看護におけるマネジメントの考え方と変遷について理解し、看護におけるマネジメントの意義を考える
- (2) 看護ケアのマネジメント、患者の権利の尊重、安全管理、医療事故対策、チーム医療、多職種連携、地域医療の連携、看護業務のマネジメントについて理解する
- (3) 看護職のキャリア形成とキャリアマネジメント、看護専門職としての成長（社会化）について理解し、自己のキャリアについて考える
- (4) 看護サービスのマネジメント、看護サービス提供のしくみづくり、サービス評価、人材・施設・設備環境・物品・時間のマネジメント、リスクマネジメント、災害時の予防と対策、ストレスマネジメントについて理解する
- (5) マネジメントのプロセスとサイクル、組織マネジメント、リーダーシップ、組織の調整について理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	30	
上記以外	70	レスポンスカード GW

・3分の1以上欠席したものは、評価の対象としない。（ただし、就職試験実習などの公欠はのぞく）
無断欠席 - 8点、遅刻・早退 - 2点とする。講義中、他者の迷惑行為（私語など）は減点 - 2点、スマホ・PC等でネットやSNS等 - 2点。
講師の都合や授業内容によって講義内容の順を変更する場合がある。

授業外学習

講義の事前、事後にテキストを読んでおいてください。
看護協会HPは参考となるサイトです。適宜、閲覧してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護管理 看護の統合と実践		医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	医療安全		医学書院	
2	看護関係法令		医学書院	
3	看護管理概説	井部俊子・中西睦子	日本看護協会出版	

前提学力等

3回生までに履修すべき専門科目・臨地実習科目を習得していることが望ましい。

履修資格

講義名	看護キャリアデザイン論						担当教員	横井 和美 / 片山 将宏
講義コード	1500142	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR327							

授業概要

医療の高度化・専門化が進む現代において看護の役割拡大や質の向上が求められる中、さまざまな角度から看護の役割を深く見詰め、自分を分析して自分の進むべき道を考える。看護学の学びをもとに、自己の人間形成とキャリア・職業観の育成、進路の選択・決定ができる能力を培う。

到達目標

- (1) 看護のキャリアデザインが求められる背景について理解できる。
- (2) 多面的な看護の役割から自己のキャリアデザインを描くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	
上記以外	50%	グループ発表からの課題レポート30% 課題発表 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護師のキャリア論	勝原裕美子	ライフサポート社	978-4-904084-01-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護教育と実践						担当教員	千田 美紀子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子
講義コード	1500143	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	441NUR329							

授業概要

臨床において看護職・保健職は、看護学生や後輩などの育成に携わる機会が多い。また、将来、教育研究機関において、看護教育者として活躍することもある。実際の講義・演習・実習など看護教育の実践の場に参加する中で、体験を通して看護実践力および指導力を培うことを目指す。

到達目標

- 1) 看護基礎教育における授業方法・授業教材・授業評価の基礎的知識について、看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して、理解し指導力を培うことができる。
- 2) 看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して得た学びを共有することが出来る。
- 3) 看護教育者として望ましい身だしなみ・態度・言動で看護教育の実践の場に参加できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1) 技術演習での参加、看護教育実践内容 80% 2) 指導した経験の振り返りと学びの共有 20%

演習の参加状況、後輩への指導状況を見て、段階的に評価する。

授業外学習

参加する演習について、まずは自分がどのようなことを学び、経験してきたか振り返ってください。(実習での経験を含む) その内容を踏まえて、復習を行った上で、各授業に参加してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護教育学 看護を学ぶ自分と向き合う	グレッグ美鈴・池西悦子	南江堂	978-4-524-25493-4
2				
3				

前提学力等

3年次までの専門基礎科目、専門科目における必修科目をすべて修得していることが望ましい。

履修資格

--

講義名	看護教育と実践						担当教員	千田 美紀子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子	
講義コード	1500143	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	演習		
ナンバリング番号	441NUR329								

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	ガイダンス	演習の概要について説明する 看護技術の習得のコツ、指導方法について話し合う					2	なし		0	
								次回参加する演習内容の復習を行		1	
第2回	後輩の看護学演習への参加および指導の実施	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第3回	後輩の看護学演習への参加および指導の実施	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第4回	後輩の看護学演習への参加および指導の実施	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第5回	後輩の看護学演習への参加および指導の実施	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第6回	後輩の看護学演習への参加および指導の実施	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第7回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第8回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第9回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第10回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第11回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第12回	看護技術の指導の実施	担当教員の指導・相談のもと後輩への看護技術の指導を実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		0	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第13回	1年生実習オリエンテーションでの看護技術指	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		1	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第14回	2年生実習オリエンテーションでの看護技術指	後輩の演習等に参加し、担当教員の指導・相談のもと後輩への指導を 実践する。					2	今回参加する演習内容の復習を行		1	
								後輩への指導について振り返り、教		0	
第15回	まとめ	後輩への指導経験を通して学んだことを話し合い共通する					2	なし		1	
								なし		0	

担当者から

教えることで主体的に学び、自身の知識・技術は定着化します。後輩学生への指導を通して看護教育の基本的な知識や関心・興味を深めてもらえる機会になることを望みます。

講義名	看護研究の基礎						担当教員	牧野 耕次 / 古株 ひろみ / 米田 照美 / 糸島 陽子 / 小林 孝子
講義コード	1500145	単位数	1	開講期	通年集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

看護における新たな知識、知見を生み出し、実践・教育・健康政策の変化をもたらす「看護研究」への理解を深めるとともに、学士力の向上を目指す。看護（卒業）研究への導入を円滑に行うため、研究を実施するにあたって必要な手法を、研究の流れに沿って解説する。

到達目標

1. 看護研究の目的と意義が理解できる。
2. 国内外における文献検討の意義を理解し、文献検索を行うことができる。
3. 研究課題の組み立て、研究方法の手法（量的・質的）が理解できる。
4. 論文の書き方が理解できる。
5. 研究倫理を踏まえて、研究計画書を作成する方法が理解できる。
6. 論文のクリティークの意義と方法を理解し、行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各講義ごとに、小テストを含むレポートで評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 別巻看護研究.東京.2017.	坂下令子	医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護トピックス/						担当教員	下通 友美 / 甘佐 京子
講義コード	1500161	単位数	1	開講期	前期	授業方法	プレ	
ナンバリング番号	441NUR326							

授業概要

授業概要：社会現象や時事問題および国内外のニュースの中で、看護師・助産師・保健師などの看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深める。講義はグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に展開する。自らが興味を持つ事象を、実習体験などを通して論じ、積極的に意見交換を行える場として活用する。

到達目標

- (1) 看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深めることができる。
- (2) グループワークを通じて自分たちの関心のあるテーマについて聴衆にわかりやすくプレゼンテーションができる。
- (3) 各テーマにおいて、自己の意見を発言し積極的にディスカッションに参加できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	自分自身が今一番注目するテーマについて、レポートを提出する。 レポート内容 テーマの現状を文献やデータをもとに詳細に記述する
上記以外	60	プレゼンテーション 20% 資料は文献やデータをもとにわかりやすくテーマについて説明できる テーマについて知見や文献を利用しながら自らの考えを説明できる

参加型授業なので、3回以上無断欠席の場合評価の対象としない

授業外学習

関心あるテーマについて統計資料や文献を調査して、聴衆にわかりやすく発表する。発表時にはパワーポイントを使用して発表用の資料を作成し、聴衆に伝わる資料を準備する。発表しない参加者も事前にテーマについて文献等を調査し、ディスカッションで自分の意見を述べることができるよ

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特になし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

今までの全ての教科書が参考図書となる

前提学力等

医療・看護・福祉に関して幅広く興味関心をもっていること。できれば、臨地実習等を経験している4年時以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	看護理論（看護学部）						担当教員	米田 照美 / 千田 美紀子
講義コード	1500162	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	241NUR218							

授業概要

臨地実習などにおける自らの看護経験を振り返り、いずれかの看護理論を援用して、「人間」「健康」「環境」「看護」の観点で整理して理解を深める。また、自らの人間観や看護観とそれを形成してきた諸経験について省察し、これからの看護実践について「人が人として生きることを支える看護」の視点で展開する。

到達目標

- (1) 理論家の略歴や理論の背景を理解した上で、看護の主要概念である「人間」「健康」「環境」「看護」および理論の概要について説明できる。また、臨地実習での看護経験に理論を援用した事例展開（劇など）ができる。
(2) 特定の現象または概念に焦点をあてた中範囲理論の概要について説明できる。また、臨地実習での看護経験や身近に起こった出来事・体験に理論を援用した事例展開（劇など）ができる。
(3) 学習プロセスを通して、自身の人間観・看護観を基礎づけ、看護実践に看護理論を援用する意義について考察ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	30	・看護理論を学ぶ意義について1200文字程度(25点) 引用・参考文献は文字数に含まない ・講義時に記述する自己の看護観は加点対象とする場合がある(5点満点)
上記以外	70	グループ発表ピア評価10% 発表の評価3点満点×2回、=6点満点 グループ貢献度2点満点×2回=4点満点

グループワークを中心にした授業形式でTeamsを活用する。
遅刻・早退・途中抜けは、1回2～4点を減点、欠席-8点。
3分の1以上の欠席は評価対象とならない。

授業外学習

看護理論、中範囲理論の著書がいくつも出版されています。看護理論に関する論文のあります。是非とも読んで理解を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護理論	筒井真優美編集	南江堂	978-4-524-24729
2	看護に活かす中範囲理論	野川道子編著	メディカルフレンド社	978-4-8392-1612-2
3				

上記のテキストはこの科目の学習だけでなく、3回生の領域別の演習や臨地実習、卒業研究等の学習にも大いに役立ちます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしく学ぶ看護理論	黒田裕子	日総研	978-4-7760-1817-9
2	誰でもわかる看護理論	城ヶ端初子	サイオ出版	978-4-907176-40-2
3	看護診断のためのよくわかる中範囲理論	黒田裕子	学研	978-4-7809-1192-3

<参考書>

前提学力等

・基礎看護学実習 を修了していること

履修資格

講義名	基礎看護学実習						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子 / 本田 可奈子
講義コード	1500163	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	141NUR219							

授業概要

病院で療養生活を送っている患者やその家族に対してその意思を尊重しながらコミュニケーション技術を用いて交流するとともに、看護場面の見学を通して、看護におけるコミュニケーションの意義について考察できるような実習とする。また、病院という環境におかれた患者の生活行動を理解し援助を試みる中で、看護者としての援助の必要性について考えてもらう。さらに、地域における病院の機能についての説明を受けたり、看護の実際の見学などを通して、看護の役割と責務について考察するような実習とする。これらの学びをもとに、今後、看護を学ぶ上での自己の学習課題を明確にできるような実習とする。

到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重して接することができる。
- (2) 自己のコミュニケーションの分析や看護場面の見学などを通して、看護におけるコミュニケーションの意義について考察できる。
- (3) 病院という環境におかれた患者の生活行動を理解し、療養環境を整える援助を試みる中で、看護者としての援助の必要性を考える。
- (4) 地域における実習病院の全体像および看護部の理念、病棟の構造と機能、看護の実際について把握し、ヘルスケアチームの中での看護者の役割と責務について考察できる。
- (5) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。
- (6) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (7) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	78%	目標に沿って評価する (1) 目標・評価用紙 10% (2) 実習記録1,3 24%
上記以外	22%	(5) カンファレンスでのディスカッション 10% (6) 身だしなみ・態度 12%

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価（かなりできる、できる、普通、あまりできない、できない）し、点数化する（100点満点）。

授業外学習

前期授業で学んだことについて復習した上で、実習に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

前提学力等

他者とのコミュニケーション力、思考力、看護技術力を磨いておくこと。
人間看護学概論、基礎看護技術 を修得していること。

履修資格

講義名	基礎看護学実習						担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 関 恵子 / 千田 美紀子 / 本田 可奈子
講義コード	1500164	単位数	2	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	241NUR220							

授業概要

療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で、その人の健康問題について生活行動に焦点をあて診断し、目標・計画立案、実施、評価するという一連の看護過程のプロセスに沿って看護実践することを旨とする。また、患者の退院後の生活を見据えた地域連携医療の支援について理解する。看護実践にあたっては、患者の個別性に応じ、安全性、安楽性、自立・自律性を考慮した上で、科学的根拠に基づいて行う。また、自らが体験した看護実践を通して、人の生命と尊厳について考えるとともに、看護の専門性についての理解を深めるよう実習する。

到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重し、適切な人間関係を形成できる。
- (2) 受持患者の発達課題を理解し、その家族も含めて現在おかれている状況や思いについて考察できる。
- (3) 療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で健康上の問題（看護診断）を抽出し、生活行動の援助を中心に計画・実施し評価できる。
- (4) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性を持ち、行動することができる。
- (5) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (6) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題		なし
上記以外	100%	実習要項参照

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価し、点数化する（100点満点）。

* 1 / 5 以上欠席の場合は、基本的に単位を認定しない。
「欠席」-8点、「遅刻」・「早退」・「途中抜ける」は 4点。

授業外学習

これまでに学んだ基礎知識・技術について全て復習した上で、実習に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	看護診断ハンドブック	リンダ・カルベニート	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーベル廣川	
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

前提学力等

他者とのコミュニケーション力、看護技術力、フィジカルアセスメント、思考力を磨いておくこと。
1年次の専門基礎科目及び専門科目5科目習得していること。

履修資格

講義名	基礎看護技術（コミュニケーション・生活環境）					担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子 / 本田 可奈子
講義コード	1500165	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習
ナンバリング番号	141NUR214						

授業概要

看護の対象はすべての人である。人間は地域におけるさまざまな場で生命を維持し、その人らしい人生を実現しようと日々生活行動を繰り返し行っている。しかし、その人が病気や障害などによって自力で生活行動を維持できなくなった場合、少しでも自立した生活が送れるよう支援することは看護の専門性の第一義的な役割である。その過程において、対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術について具体例を挙げながら説明する。また、自らのコミュニケーションについて振り返る方法を提示する。さらに、対象となる人が地域におけるさまざまな場でその人らしく健康にまたは安寧に生活できるよう、生活行動および生活の場となる環境について看護の視点から考察してもらおう説明する。また、入院を余儀なくされている患者を対象とした療養環境を整える援助について演習し、技術習得してもらおう指導する。

到達目標

- (1) 地域におけるさまざまな場で看護の対象となるすべての人との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術の基礎を理解し、プロセスレコードを作成することができる。
- (2) その人らしく生きていくことを支える看護について考えたことを発表・共有することができる。
- (3) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (4) 人がその人らしく生きていく上で重要な生活行動をとりあげ、その意味やメカニズム、行動の成り立ち等について追究し、作成した資料等をもとに他者にわかりやすく説明できる。
- (5) 対象となる人の生活行動および生活の場となる環境をとらえ、科学的思考をもとに看護の視点から考察できる。
- (6) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70点	到達目標に沿って評価する。以下、目標に沿った評価課題を示す。なお、この授業は、レポート課題とレポート以外の看護技術評価などによって100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外	30点	レポート課題以外の評価として、到達目標に沿った評価を以下のように行う。 (8)看護技術21点（前半6点、後半15点）および自己練習9点

- * 本授業は基礎看護学実習 の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- * 本演習に出席することが大前提となる。

授業外学習

本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していく（清潔に身だしなみを整えた上で演習を行う）。皆さんも清潔な身だしなみに整えた上で実習室を使用しましょう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	基礎看護学 基礎看護技術	茂野香おる	医学書院	
2	基礎看護学 基礎看護技術	有田清子	医学書院	
3	生活行動援助の技術	川島みどり	看護の科学社	

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、授業中に資料も配布する

前提学力等

履修資格

講義名	基礎看護技術（生活行動援助）						担当教員	千田 美紀子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 本田 可奈子
講義コード	1500166	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	141NUR215							

授業概要

人間の生活行動で基本となる「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」ことの意義やメカニズム、基礎的知識を学んだ上で、生活行動に援助が必要となった人への看護技術の基本を習得していく。また、その学習過程の中で、看護技術を行う上で重要となる安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追究し、技術化への原理となる思考プロセスを学ぶ。

到達目標

- (1) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。
- (2) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (3) 病院という場で生活する患者の「療養環境を整える」こと、および「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」という生活行動を援助するための基礎となる看護技術について自主的に練習を重ね、技術習得ができる。
- (4) 実施する看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性を阻害する因子および対応策についてワーク用紙にまとめることができる。
- (5) 実施する看護技術について、より良い方法を試行錯誤・創造し、かつ科学的根拠を追究した上で、客観的かつ具体的にワーク用紙にまとめることができる。
- (6) 学習者としてグループの一員としての自覚と責任・強調性を持ち、行動することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	35%	・各援助技術の課題ワーク35%
上記以外	65%	・小テスト20% ・技術チェック40%および自己練習5% *詳細は、演習時に配布説明する

- * 本科目は基礎看護技術・基礎看護学実習の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができない。
- * 単位修得には本演習に出席することが前提となる。

授業外学習

本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していきます。清潔に身だしなみを整えた上で演習を行ってください。自己練習も同様です。
* 欠席の場合も、その授業で出された課題ワークなどは提出する（未提出のまま、技術試験を受けることはできません）。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学2	茂野香おる	医学書院	978-4-260-04211-6
2	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学3	任和子	医学書院	978-4-260-04212-3
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生活行動援助の技術	川嶋みどり	看護の科学社	
2				
3				

適宜、授業中に資料も配布する。

前提学力等

履修資格

講義名			基礎看護技術（生活行動援助）				担当教員		千田 美紀子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 本田 可奈子	
講義コード		1500166	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習		
ナンバリング番号		141NUR215								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習
第1回	ガイダンス 動くことの援助技術	「動く」とことと身体・生活行動との関わり、体位変換、安楽な体位の工夫（褥創の予防）	4	前期科目：基礎看護技術 で学んだ授業で学んだ内容について復習し、0.
第2回	環境を整える・動くことの援助技術	臥床患者のシーツ交換	4	教科書「基礎看護技術」の環境調整授業で学んだ内容について復習し、0.
第3回	動くことの援助技術	車椅子・ストレッチャーによる移乗・移動	4	教科書「基礎看護技術」の活動・授業で学んだ内容について復習し、0.
第4回	動くことの援助技術	移動・移乗援助の安全性を考える	4	第3回目の授業内容について、教科書で学んだ内容について復習し、0.
第5回	身支度を整える援助技術	臥床患者の寝衣交換	4	教科書「基礎看護技術」の清潔・授業で学んだ内容について復習し、0.
第6回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	入浴することの援助の意義、臥床患者の全身清拭（パジャマの更衣含む）1	4	教科書「基礎看護技術」の清潔・授業で学んだ内容について復習し、0.
第7回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	臥床患者の全身清拭（パジャマの更衣含む）2	4	授業で配布した資料を読んでくる。授業で学んだ内容について復習し、0.
第8回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	臥床患者の全身清拭（下半身 おむつ交換・陰部洗浄含む）3	4	授業で配布した資料を読んでくる。授業で学んだ内容について復習し、0.
第9回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	臥床患者の手浴・足浴	4	教科書「基礎看護技術」の清潔・授業で学んだ内容について復習し、0.
第10回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	臥床患者の洗髪 1（洗髪車、洗髪器、洗髪台など）	4	教科書「基礎看護技術」の清潔・授業で学んだ内容について復習し、0.
第11回	入浴すること（清潔と安楽）の援助技術	臥床患者の洗髪 2	4	授業で配布した資料を読んでくる。授業で学んだ内容について復習し、0.
第12回	治療・処置を受けている患者の看護	創傷処置を必要とする患者の看護：包帯法 循環障害を持つ患者の看護：罨法（温・冷）	4	教科書「基礎看護技術」の苦痛の授業で行った包帯法・三角巾を用い0.
第13回	食べることの援助技術	臥床患者の食事の援助、口腔ケア	4	教科書「基礎看護技術」の食事援助授業内容を振り返り、実施方法や留0.
第14回	排泄することの援助技術	排泄のアセスメント、自然排尿・排便の援助（尿器・便器、ポータブルトイレなど）	4	教科書「基礎看護技術」の排泄援助授業内容を振り返り、実施方法や留1
第15回	眠ることの援助技術	睡眠の援助、心地よさを追求した援助（リラクゼーション）	4	教科書「基礎看護技術」の苦痛の授業内容を振り返り、実施方法や留1

担当者から

看護の基本中の基本となる演習です。
みんなで思考・試行しながら、いっしょに学んでいきましょう。

講義名	基礎看護技術						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500167	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	241NUR216							

授業概要

看護とは、健康問題に対する人間の反応を診断し、あらゆる健康のレベルにおいて、その人らしくより健康に生活できるよう支援することといえる。看護過程は、対象が健康な生活を送るにあたって障害となっているさまざまな健康問題を解決するために、個や集団に適用される手段・方法であり、看護アセスメントの基礎となる技術である。ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って具体的に事例展開を演習形式に進めながら、技術習得することを旨とする。

到達目標

- (1) 看護過程を看護の方法論として捉えることができ、看護過程を構成する要素や代表的な看護診断について、資料化し説明できる。
- (2) 科学的思考について理解し、練習事例のデータを解釈できる。
- (3) ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って、事例を用いて看護過程を展開することができる。
- (4) 根拠や創意工夫した点も含めて看護計画の立案ができる。
- (5) グループで立案した計画について、根拠や創意工夫した点も含めてロールプレイングを用いて発表できる。
- (6) 看護過程における記録、評価、サマリーについて理解し、事例をもとに記述できる。
- (7) 学習者として、またグループの一員としての自覚と責任・協調性を持ち、行動することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70点	・練習事例アセスメント10点 ・事例展開50点 ・評価10点
上記以外	30点	・看護診断課題(資料化と発表)10点 ・計画実施ロールプレイ(グループワークによる資料化と発表)20点 ・演習時の不適切な言動や他者への迷惑行為 - 2点/回

- * 本科目は8月の基礎看護学実習の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- * 本演習に出席することが大前提となる。

授業外学習

* いかなる欠席の場合も、その授業で出された課題ワークなどは提出する。なお、やむを得ない事情以外で課題提出が遅れた場合は、評価点 - 5点(1課題につき)とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護診断ハンドブック	カルペニート(新道幸恵ほか訳)	医学書院	
2				
3				

* 1回生のときの基礎看護技術のテキスト(基礎看護技術, 基礎看護学2, 医学書院)も使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA- 看護診断 定義と分類	T.ヘザー・ハードマン(日本看護診断学会監訳)	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	
3	石川ふみよ	看護過程の解体新書	学研	

適宜、授業中に資料を配布する。

前提学力等

1年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目の単位を全て修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	基礎看護技術						担当教員	関 恵子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 千田 美紀子 / 本田 可奈子
講義コード	1500168	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	241NUR217							

授業概要

看護を実践するための基礎となる看護技術を習得する。特に、診療に関連する援助の基礎的な技術を習得するとともに、科学的根拠に基づいた安全性を重視した看護実践能力を養う。また、看護の対象となる人を総合的に捉えるためのフィジカルアセスメントの基礎を学び、看護を行う上で必要な観察力を養う。さらに、健康障害をもつ対象を理解し、状態に応じた看護技術を適用する方法の基礎的な知識について学ぶ。

到達目標

- (1) 人を総合的に捉え、看護に反映するための基礎的なフィジカルアセスメントを実践し、記述できる。
- (2) 観察技術の基本となるバイタルサイン測定技術について自主的に練習を重ねて習得する。
- (3) 看護を行う上での基礎的な観察とコミュニケーションをもとに患者の情報を収集し、観察したことを正常か異常か判断することができる。
- (4) グループワークを通して診療の補助の基礎的な看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追求しながら実践できる。
- (5) 看護者として望ましい身だしなみと態度・言動について考え、実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	35	1) バイタルサイン測定の手順と根拠(10%) 2) フィジカルアセスメントワークブック(25%)
上記以外	65	1) バイタルサイン技術チェック(10%)・実技試験(25%) 2) 演習時の学びの用紙(5%) 3) 演習の学び(10%)・グループワークの取り組み状況(5%)・実技練習(10%)

- * 本科目は基礎看護学実習 の前提科目である
- * 理由なく課題提出が遅れた場合は、評価点-5点(1課題につき)とする。
- * 本演習に出席することが大前提となる(原則として欠席・遅刻は認めない)やむを得ない事情(忌引き、病欠、事故や災害など)の場合は、事前

授業外学習

* グループワークについて：学生間で互恵的な協力関係を築き、個々が責任を持ち、活発な意見交換を行うことによって、お互いが学び合える小集団技能を磨けるように努める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス	守田 美奈子, 鈴木 憲史	インターメディカ	9784899964087
2	フィジカルアセスメント ワークブック: 身体の仕組みと動きをアセスメントにつなげる	山内 豊明	医学書院	9784260018326
3				

・フィジカルアセスメントの演習では、上記の指定教科書を毎回持参する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実習で使える看護技術アドバンス	吉田みつ子・本庄恵子監修	インターメディカ	9784899964155
2	看護技術プラクティス	竹尾恵子	学研	9784059182535
3	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版	任和子/井川順子/ 秋山智弥	医学書院	9784260032193

前提学力等

- 1) 1年次の専門基礎科目、専門科目における必修科目の単位をすべて修得していることが望ましい。
- 2) 履修資格として基礎看護技術 ・ 、基礎看護実習 を修得していること。

履修資格

講義名	クリティカルケア実践演習						担当教員	荒川 千登世 / 生田 宴里
講義コード	1500181	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	441NUR322							

授業概要

- 1) クリティカルな状況にある対象（患者および重要他者）への看護について、発展的に考察する
- 2) 臨床看護師の思考プロセス（臨床推論・臨床判断）について、事例やシミュレーションをとおして学ぶ

第1回に内容やスケジュールの調整をおこないます。
6人以下の場合、開講しないことがあります。

到達目標

- 1) クリティカルな状況にある対象者（患者および重要他者）への看護について、発展的に考察する
- 2) 臨床看護師の思考プロセス（臨床推論・臨床判断）について、事例やシミュレーションをとおして学ぶ

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	最終レポート20%
上記以外	80%	事前学習状況40% 参加状況（ワーク、プレゼン、ディスカッション）40%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「領域別実習（編入生は相当する科目）」を履修していること

履修資格

講義名	クリティカルケア実践演習							担当教員	荒川 千登世 / 生田 宴里	
講義コード	1500181	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習			
ナンバリング番号	441NUR322									

授業計画										
回数	テーマ	概要						予習 / 復習		
第1回	オリエンテーション	2022 4/8 (金) 3限 *オリエンテーション						2		0
										0
第2回	臨床推論・臨床判断： 意識障害	* 意識障害を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	事前学習：意識障害	2
										0
第3回	臨床推論・臨床判断： 意識障害	* 意識障害を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	ふりかえり	0
										0
第4回	臨床推論・臨床判断： 呼吸困難	* 呼吸困難を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	事前学習：呼吸困難	2
										0
第5回	臨床推論・臨床判断： 呼吸困難	* 呼吸困難を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	ふりかえり	0
										0
第6回	臨床推論・臨床判断： 胸痛	* 胸痛を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	事前学習：胸痛	2
										0
第7回	臨床推論・臨床判断： 胸痛	* 胸痛を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	ふりかえり	0
										0
第8回	臨床推論・臨床判断： 腹痛	* 腹痛を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	事前学習：腹痛	2
										0
第9回	臨床推論・臨床判断： 腹痛	* 腹痛を有する患者の臨床判断プロセスを理解する (ワーク・シミュレーション・リフレクション)						2	ふりかえり	0
										0
第10回	臨床推論・臨床判断： 心理・社会的側面	* クリティカルな状況にある対象の心理・社会的側面の臨床判断プロセスを理解する						2	事前学習：心理・社会的側面をアセ	2
										0
第11回	臨床推論・臨床判断： 心理・社会的側面	* クリティカルな状況にある対象の心理・社会的側面の臨床判断プロセスを理解する						2	ふりかえり	0
										0
第12回	BLS (一次救命処置)・ ACLS (二次救命処	* BLS (一次救命処置)・ACLS (二次救命処置)について理解する (技術演習を含む)						2	事前学習：BLS・ACLS	2
										0
第13回	BLS (一次救命処置)・ ACLS (二次救命処	* BLS (一次救命処置)・ACLS (二次救命処置)について理解する (技術演習を含む)						2	ふりかえり	0
										0
第14回	まとめ：クリティカル ケアをどのように理解	(ワーク・プレゼン・ディスカッション)						2		0
										0
第15回	まとめ：クリティカル ケアをどのように理解	(ワーク・レポート)						0	課題レポート	0
										2
担当者から										

講義名	病理学総論[病理学]						担当教員	坪井 宏仁
講義コード	1500195	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	141NUR204							

授業概要

正常の人体の構造と機能はいろいろな侵襲によって傷害され、疾病がおこる。病理学では、病気を起こす原因と、それぞれの原因によって病変が成立する機序を学ぶ。これによって、各種疾病の基本的な疾患概念を理解することができる。その知識と正しい理解は医療の各分野における基礎として必須である。本講義では、解剖生理学の知識を基盤として、臨床医学・看護学への架け橋となるよう授業する。総論として、細胞損傷、炎症、免疫、感染症、循環障害、代謝障害、腫瘍、先天性異常、環境と栄養の9つのカテゴリーについて解説する。

到達目標

- (1) 細胞傷害・変性・細胞死の原因を説明できる。
- (2) 生体への侵襲に対する防御機構について説明できる(炎症・免疫)。
- (3) 循環障害、代謝障害、先天異常、免疫異常、感染症、腫瘍、中毒性疾患など、主要な病態について説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	選択問題・穴埋め問題・80点 記述問題
レポート課題	20	レポート 2回 (10点×2=20)
上記以外		

授業外学習

課題3題を課し、レポートの提出を求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病理学	大橋健一、他	医学書院	978-4260019866
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する

前提学力等

解剖生理学Iについて理解していることを前提とする。

履修資格

講義名	微生物学 / 免疫学[微生物学]						担当教員	北川 善紀
講義コード	1500205	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR205							

授業概要

私たち人類は、有史以前から様々な感染症に脅かされてきました。古くはペスト（黒死病）や痘瘡（天然痘）、AIDSなどが猛威を振るい、現在もまた「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」が多くの生命を奪い、社会生活や文化を破壊し続けていることは、皆さんもご存じのとおりです。今後も「新しい感染症（新興感染症）」が出現することは疑う余地はありません。病原微生物は「人類の宿敵（ライバル）」であり、感染症との戦いは「人類の宿命（さだめ）」なのです。

一方、人間を含めた宿主は、微生物感染に対抗して「免疫」と呼ばれるシステムを進化させてきました。私たちの身体には日々、呼吸や飲食、小さな傷口などから無数の微生物が侵入しています。そんな微生物まみれ（？）の状況でも健康でいられるのは、まさに免疫のおかげです。しかし、HIVのように、免疫システムを破壊または回避する微生物が多数存在しています。また、身を守るはずの免疫が暴走して、最悪の場合では生命を奪うことさえあります。自己免疫疾患やアレルギー、COVID-19の重症化メカニズムとしても知られる「サイトカインストーム」などです。

中国の兵法書「孫子」に「敵を知り己れを知れば、百戦して殆（あや）うからず」という言葉があります。まさに、病原微生物や感染症（=敵）と、人体や免疫システム（=己）を総合的に学ぶことで、感染症に対抗するための知識や技術の習得が可能になると考えます。科学的エビデンスに基づく見識と医療のプロフェッショナルとして対応しい専門知識を習得してもらうことが、本授業の目的となります。

到達目標

本講義では、看護学教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえて、以下の到達目標を設定しています。

- (1) 細菌、真菌、原虫、ウイルス、プリオンについて、それぞれの基本的な性状を理解し、違いを説明できるようになる。
- (2) 感染の成立や、その後の発症、治癒に至る経過について理解し、説明できるようになる。
- (3) 病原体の感染病理と感染機構について理解し、その概要を説明できるようになる。
- (4) 免疫機構（自然免疫と獲得免疫）の仕組みや、免疫応答（液性免疫と細胞性免疫）の特徴を理解し、概要を説明できるようになる。
- (5) ワクチン（予防接種）、受動免疫療法、抗感染症薬について理解し、説明できるようになる。
- (6) 感染症法や新型インフル特措法について、その概要を説明できるようになる。
- (7) 主要な感染源と感染経路を学び、標準予防策などの感染予防策について理解し、説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	【評価項目と範囲】 到達目標に掲げた9項目について達成できていることを確認するため、授業内容にあげた全範囲を対象として試験を行います。
レポート課題	0	
上記以外	0	

定期試験の結果が60点未満の学生には、授業内容にあげた全範囲を対象としたレポート課題を出します。提出されたレポートと定期試験の採点結果を踏まえて、最終的な成績を評価します。詳細については、本シラバスに添付した「成績評価チャート」を参照してください。

授業外学習

微生物学に限らず全教科において予習と復習は必須であると考えますが、特に微生物学・免疫学では覚えるべき専門用語や似た語句が多いことから、授業計画欄の予習内容・復習内容を踏まえて、自学自習することを強くお勧めします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	微生物学	吉田真一	医学書院	9784260047029
2				
3				

講義では毎回、学習用資料としてプリントを配布します。教科書は、授業中や予習・復習に使用しますので、初回授業前に必ず準備してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	戸田新細菌学	吉田真一、柳雄介、吉開泰信	南山堂	9784525161149
2	JANEWAY'S 免疫生物学	(監訳) 笹月健彦、吉開泰信	南江堂	9784524251155
3				

戸田新細菌学は微生物学全般と免疫学について書かれている教科書で、深く学習したい方向けです。

前提学力等

特にありません。

履修資格

講義名	微生物学 / 免疫学 [微生物学]						担当教員	北川 善紀	
講義コード	1500205	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	141NUR205								

授業計画									
回数	テーマ	概要				予習 / 復習			
第1回	微生物と微生物学	本講義のガイダンスを行います。その後、微生物（細菌と真菌、原虫、ウイルス、プリオン）および蠕虫の生物学的な位置付け、感染症				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第2回	細菌の性質	細菌の性質と構造、増殖環境について説明します。また、人間の体内または体表面に生息する常在細菌の種類と、それらが引き起こす医学				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第3回	真菌と原虫の性質	真菌および原虫の性質と構造、増殖様式について説明します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第4回	ウイルスの性質	ウイルスおよびプリオンの性質と構造、増殖法について説明します。また、ウイルスの分類とプリオンによる疾患（プリオン病）について				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第5回	感染と感染症	病原体の感染から発症、治癒に至るまでの経過について説明します。特に、代表的な感染源と感染経路について詳説します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第6回	病原体の感染機構 免疫1（概要と自然免	病原体と宿主の攻防：病原体が備える感染機構について説明します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第7回	免疫2（獲得免疫）	微生物に対抗する獲得免疫の仕組みと、免疫学的記憶について詳説します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第8回	免疫3（免疫疾患とワクチン）	免疫系疾患（アレルギーや自己免疫）について概説します。また、免疫を利用したワクチンや受動免疫について詳説します。さら				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第9回	感染症の予防	感染症法や新型インフルエンザ等対策特別措置法などの法律について概説します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第10回	感染症の検査・治療	感染症の検査診断法と治療法（薬理学相当分野は除く）について説明します。またMRSAなどに代表される薬剤耐性菌について説明します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第11回	細菌学各論（1）	代表的な病原性細菌の性状と病原性、感染経路、治療や予防法について説明します。この回の講義では、主に球菌と桿菌について説明しま				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第12回	細菌学各論（2）	代表的な病原性細菌の性状と病原性、感染経路、治療や予防法について説明します。この回の講義では、主にらせん菌やマイコプラズマ、				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第13回	真菌学各論 原虫学各論	代表的な病原性真菌や原虫の性状と病原性、感染経路、治療や予防法について説明します。				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第14回	ウイルス学各論（1）	代表的な病原性ウイルスの性状と病原性、感染経路、治療や予防法について説明します。この回の講義では、主にインフルエンザウイルス				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2
第15回	ウイルス学各論（2）	代表的な病原性ウイルスの性状と病原性、感染経路、治療や予防法について説明します。この回の講義では、前回（第14回）で説明しな				2	指定教科書の以下の項目を読んで予		2
							配付資料や教科書を振り返り、知識		2

担当者から

微生物学は、医療従事者にとって最も重要な基礎分野の一つで、内科外科問わず、どの診療科においても密接に関わってきます。また、今般のパンデミックの原因となった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のように、感染症は社会活動や日常生活全般に大きな影響をもたらすことがあり、

講義名	健康教育論						担当教員	馬場 文
講義コード	1500212	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	441NUR321							

授業概要

講義を通して、健康教育の理念・定義や目的、健康教育が展開される場と対象について学習する。そして、対象のとらえ方やアプローチの方法など健康教育の具体的な展開について、健康行動理論や学習理論、科学的根拠に基づいて学習する。また、講義で学んだ知識を活用した健康教育の企画立案（指導案作成）と実施（模擬）を行う。

到達目標

(1)健康教育についての理念・定義について説明できる。(2)健康教育の目的・目標および健康教育の場と対象について説明できる。(3)健康行動理論・学習理論・教育技法について説明できる。(4)対象に応じた健康教育を企画立案・実施・評価できる。(5)グループ活動の意義を理解し、協働して活動に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)から(3)について、試験で評価する。 定期試験で30%
レポート課題	20%	到達目標(3)について、健康教育の応用に関する事例の課題で評価する。
上記以外	50%	到達目標(4)について、指導案や健康教育実施内容で評価する。(40%) 到達目標(5)について、グループワークの取り組み状況から評価する。(10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

各回の予習・復習を積極的に行ってください。
後半では、健康教育の媒体（動画）を各自で作成しますが、根拠に基づいた健康教育媒体となるよう、もともとなる知識をしっかりと調べながら進める

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座2公衆衛生看護技術	中村裕美子他	医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23337-5
2				
3				

授業で、資料を配布する。

前提学力等

保健師課程3年次必須科目です。
保健師課程以外の学生も3年次での履修が望ましい。

履修資格

講義名	健康教育論							担当教員	馬場 文	
講義コード	1500212	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授			
ナンバリング番号	441NUR321									

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	健康教育とは	授業ガイダンス 健康教育の理念・定義/健康教育の目的	2	教科書の該当箇所を読み、予習す 自身がこれまでに受けたことにある	2 2
第2回	健康行動とは	健康行動について 健康行動を取り巻くさまざまな要因	2	教科書の該当箇所を読み、予習す 自身の健康行動について振り返り、	2 2
第3回	健康教育と健康行動・ 行動変容(1)	健康教育に活用する健康行動理論についての講義(その1)	2	健康行動理論について、教科書の該 健康行動理論がどのような状況で活	2 2
第4回	健康教育と健康行動・ 行動変容(2)	健康教育に活用する健康行動理論についての講義(その2)	2	健康教育に活用する健康行動理論に 健康行動理論がどのような状況で活	2 2
第5回	健康教育の方法(1)	健康教育に活用する学習理論や教育技法についての講義(その1)	2	健康教育に活用する学習理論や教育 健康教育に活用する学習理論や教育	2 2
第6回	健康教育の方法(2)	健康教育に活用する学習理論や教育技法についての講義(その2)	2	健康教育に活用する学習理論や教育 健康教育のさまざまな媒体から、ど	2 2
第7回	健康教育に活用する理 論と実践への応用	健康教育の実践場面における理論や技法の応用について、ワークを通 して学ぶ	2	これまでに学んだ健康行動理論を、	4
第8回	健康教育の展開：対象 とテーマの選定	健康教育の展開に向けた、対象とテーマの選定	2	各自で健康教育媒体(動画)作成の	4
第9回	健康教育の展開：企画 ・立案(指導案作成)	対象とテーマに応じた健康教育の企画と立案を行う	2	各自の健康教育媒体(動画)作成内	4
第10回	健康教育の展開：企画 ・立案(指導案の共有と	グループで、各自の企画立案内容を共有し、意見交換する	2	グループワークでの指導案について	4
第11回	健康教育の展開：実施 準備(1)	各自で、企画立案に沿って健康教育媒体(動画)作成	2	健康教育媒体(動画)には根拠に基	4
第12回	健康教育の展開：実施 準備(2)	各自で、企画立案に沿って健康教育媒体(動画)作成	2	健康教育媒体(動画)には根拠に基	4
第13回	健康教育の展開：実施 (模擬健康教育)(1)	作成した健康教育媒体を発表し、グループで意見交換する	2	ワンドライブにアップロードされた	4
第14回	健康教育の展開：実施 (模擬健康教育)(2)	作成した健康教育媒体を発表し、グループで意見交換する	2	ワンドライブにアップロードされた	4
第15回	健康教育の評価とまと め	実施結果についての評価と、授業全体のまとめ	2	定期テストに向けて、到達目標	4 4
担当者から					

講義名	公衆衛生学（看護）						担当教員	草野 文嗣 / 小林 孝子
講義コード	1500213	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212							

授業概要

公衆衛生とは、全ての人間及びその集団を対象とする活動であり、それ故全ての人間が、より良い状態で生活し、生涯を終えることを追及していることを理解する。また、全ての人の健康状態がどのように時代と共に変化し、守られてきているかを、全ての生活基盤において観察し、それを基に、疾病予防・健康増進のためにどのような活動や努力が必要か、生活環境や食物等との関係も含め理解する。
また、これから先の人口高齢化、多病、多死、人口減少社会に対し、現代に生きる人間が如何に対処すべきかを考える。

到達目標

公衆衛生活動が、全ての人間の健全な生活にどのように関わっているかを理解する。
全ての生活環境、食生活等が、人間の一生に関して如何に大きく関わっているかを理解する。
現在のわれわれの生活内容、健康状態が、将来の世代に如何なる影響を与えるかを理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標 について穴埋め式試験を行う
レポート課題	30	到達目標 についてレポート課題を課す
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「わかりやすい公衆衛生学」	清水 忠彦 , 佐藤拓代 (編集)	ヌーヴェルヒロカワ	978-4-86174-066-4
2	「養生訓」に学ぶ! 病気になるない生き方	下方 浩史	素朴社	978-4903773179
3				

「わかりやすい公衆衛生学」は初回授業時に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

国民衛生の動向（厚生労働統計協会）

前提学力等

人体解剖・生理を習得し、微生物、病理を理解していること。

履修資格

講義名	公衆衛生学 (看護)					担当教員	草野 文嗣 / 小林 孝子
講義コード	1500213	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212						

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習 / 復習		
第1回	公衆衛生とは	全ての人間を対象に、より良い健康状態を求める活動であることを知らせる。			2		
第2回	人口の現状	人間集団の大きさを示す人口について知る。			2		
第3回	人口の変動、高齢化	時代の変化によって、人口構成がどのように変化し、高齢化したかを知る。			2		
第4回	古い日本の保健衛生	旧来の時代から終戦直後迄の日本人の保健衛生状態とその背景を知る。			2		
第5回	戦後から現代までの日本の保健衛生、平均寿命	タイトルに示した時代の背景と保健衛生状態、平均寿命の変化を知る。			2		
第6回	母子保健	母子保健の現状と課題を知る。			2		
第7回	感染症の概要、感染症と保健所活動	旧来からの感染症の発生・予防対策を知る。			2		
第8回	非感染性疾患	その発症要因と予防策を知る。			2		
第9回	健康教育とヘルスプロモーション	健康教育と社会環境づくりの方法を知る。			2		
第10回	環境保健	自然環境と人の健康との関わりを知る。			2		
第11回	公害、公害病	産業活動の不幸な結果としての公害とそれによる健康障害(公害病)の実態を知る。			2		
第12回	産業保健、職業病、学校保健	職域学校における健康管理等の理解を深める。			2		
第13回	食品衛生	食と健康保持との関係の重要性を知る。含 食中毒。			2		
第14回	保健行政	地域保健法を含め、保健行政の現状を理解する。			2		
第15回	疾病予防、介護保険制度	生活全般から健診を含め、疾病予防・重症化防止の重要性を理解する。			2		
担当者から							

講義名	公衆衛生看護学						担当教員	馬場 文
講義コード	1500214	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	授	
ナンバリング番号	441NUR330							

授業概要

講義期間の前半は公衆衛生看護の対象と保健活動について、さまざまな方向から理解することを目標とする。公衆衛生看護の対象は、小児、母子、成人、高齢者などあらゆるライフステージの人々である。さらに、さまざまな健康課題を持つ人々も対象となる。これらの対象を行う保健活動について、各ライフステージおよび健康課題ごとに、現在までの保健統計の動向・保健活動の目的・行政における保健施策体系・法的根拠についてテキストと配布資料をもとに講義を行う。次いで講義期間の後半は、行政を中心に展開されている保健活動の方法について体系的に理解することを目標とする。公衆衛生看護技術の総体である保健指導の定義と具体的な方法について、テキストと配布資料をもとに講義を行う。

到達目標

- (1) ライフサイクル別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (2) 健康課題別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (3) 対象の特性（ライフサイクル・健康課題・個人・家族・集団・組織など）に応じた、保健指導の目的・方法・評価について述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標(1) : 10% 到達目標(2) : 20% 到達目標(3) : 30%
上記以外	40	到達目標(1) : 15% 到達目標(2) : 25% いずれも、第3回から第10回の授業後に小テストを行う。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回の授業に対して、教科書・国民衛生の動向などをもとに予習し、関連知識の確認や疑問点の明確化を行っておく。第3回から第10回の授業後の小テストはFormsで行う予定である。授業の復習をして回答すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術第3版	中村裕美子 他	医学書院	9784260021937
2	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動第4版	中谷芳美 他	医学書院	9784260031875
3	国民衛生の動向2020/2021		厚生労働統計協会	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆衛生マニュアル	柳川洋, 中村好一 編集	南山堂	978-4-525-18733-0
2	母子保健マニュアル	高野陽 他	南山堂	978-4-525-18447-6
3				

参考資料およびパワーポイントスライドのハンドアウト等のプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学							担当教員	馬場 文
講義コード	1500214	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	授		
ナンバリング番号	441NUR330								

授業計画										
回数	テーマ	概要						予習/復習		
第1回	授業ガイダンス	授業計画、授業の方法、評価方法等について						2	2年次で履修した「公衆衛生学」 公衆衛生看護学 を履修するにあた	3 1
第2回	公衆衛生看護の場と特性	公衆衛生学・公衆衛生看護学概論の復習、公衆衛生看護学とは ライフサイクル別に見た健康課題とそのつながり						2	教科書の該当部分を読み、関連知識 授業配布資料をもとに復習する。	2 2
第3回	ライフサイクル別活動 母子保健活動	母子保健の指標と動向、母子保健活動の目的、母子保健施策体系、法的 根拠高齢者保健の指標と動向						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第4回	ライフサイクル別活動 成人保健活動	成人保健の指標と動向、成人保健活動の目的、成人保健施策体系、法的 根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第5回	ライフサイクル別活動 高齢者保健活動	高齢者保健活動の目的、高齢者保健施策体系、法的根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第6回	健康課題別活動 難 病保健活動	難病保健の指標と動向、難病保健活動の目的、難病保健施策体系、法的 根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第7回	健康課題別活動 精神 保健活動	精神保健の指標と動向、精神保健活動の目的、精神保健施策体系、法的 根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第8回	健康課題別活動 障害 者に対する保健活動	障害者保健の指標と動向、障害者保健活動の目的、障害者保健施策体 系、法的根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第9回	健康課題別活動 感染 症保健活動(1)	感染症保健の指標と動向、感染症保健活動の目的、感染症保健施策体 系、法的根拠						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第10回	健康課題別活動 感染 症保健活動(2)	結核対策、健康危機管理における感染症対策						2	教科書の該当部分および国民衛生の 教科書・国民衛生の動向・配布資料	2 2
第11回	第3回（母子保健）～第 10回（感染症）のまと	ライフサイクル別・健康課題別の保健活動について学習内容を振り返 る						2	教科書、国民衛生の動向、第3回～ 第3回～第10回までの学習内容に基	2 2
第12回	方法論別活動 保健指 導とは	保健指導の定義、法的根拠、保健指導で用いる技術						2	教科書の該当部分を読み、関連知識 教科書、配布資料、授業での視聴覚	2 2
第13回	方法論別活動 家庭訪 問・健康相談・健康診	保健師による家庭訪問の意義と方法・評価、法的根拠 健康相談の目的・対象・方法						2	教科書の該当部分を読み、関連知識 教科書、配布資料、授業での視聴覚	2 2
第14回	方法論別活動 グルー プ支援・地区組織化活	グループ支援の目的・対象・方法、地区組織活動の目的・対象・方法 ・評価						2	教科書の該当部分を読み、関連知識 教科書、配布資料、授業での視聴覚	2 2
第15回	方法論別活動 全体 を通じてまとめ	公衆衛生看護の方法論別活動について学習内容を振り返る						2	第12回以降の配布資料及び教科書で 第12回～15回の学習内容をふまえ	2 2

担当者から

法律・制度や保健統計などの解説だけではなく、地域保健活動の現場でどのように運用されているか、保健師の活動とどのように関係しているのか、具体例をできるだけ多く伝えていきたいと考えています。

講義名	公衆衛生看護学						担当教員	馬場 文 / 西内 恭子
講義コード	1500215	単位数	2	開講期	前期後半	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

本講義はオムニバス方式で展開し、学校における学校保健活動、社会・環境と公衆衛生看護活動、歯科保健活動、職域における産業保健活動についての基本的考え方を学ぶ。

学校保健活動：学校における看護職の役割について理解し、今日の問題である生活習慣病の若年化や引きこもり・不登校・いじめ等の学校保健の課題とその解決のための看護職の基本的役割についても学ぶ。

社会・環境と公衆衛生看護活動：社会環境要因に関連した健康課題や健康格差などの今日の課題について学び、まちづくりやヘルスプロモーションの視点から課題の解決方法と看護職の役割を考察する。

歯科保健活動：歯科保健における課題と活動を学び、看護職の役割を考察する。

産業保健活動：産業保健活動の目的は働く人々が労働と健康の調和を図り、心身ともに健康で充実した職業生活が出来るよう支援することである。産業保健活動のファーストラインスタッフである産業看護職の役割と職務について考える。

到達目標

【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】

- (1)公衆衛生看護において社会や環境への働きかけの重要性と、その具体例について説明することができる。
- (2)社会や環境に関連した健康課題と対応策について説明することができる。
- (3)学校保健・安全における看護職者の役割について述べる事ができる。
- (4)学校保健・安全の課題とその解決方法を考え、述べる事ができる。
- (5)歯科・口腔保健のライフステージごとの健康課題とその対応策を説明することができる。

【産業保健】

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】 (1)定期試験(10%) (2)定期試験(10%)
レポート課題	50	【産業保健】 中間レポート20%、最終レポート30% 授業姿勢により加算する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

【第1回～第8回】授業の復習を復習内容に記載したことを着実に実施することにより、4回生の公衆衛生看護学実習で現場の状況を理解することにつながり、ひいては将来の保健師活動で視野を広く持つことにつながる。また、本科目の定期試験では、この復習を活用した出題内容とする予定で

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動	中谷芳美ほか	医学書院	
2	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術	中村裕美子ほか	医学書院	
3				

授業で資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国民衛生の動向			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学概論						担当教員	小林 孝子
講義コード	1500216	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	241NUR235-C							

授業概要

地域で生活する人びと（小児・母子・成人・高齢者等）の健康障がい予防、健康の保持・増進、健康障がいを持つ人びとを対象とする公衆衛生看護学の概念、意義、基本的理念について学ぶ。またそれらを実践する際の活動の視点、活動の領域、展開方法などの基本的知識について理解する。さらに日本や諸外国の公衆衛生看護活動の成立基盤や歴史、活動に用いられる主要な公衆衛生学の理論、医療・保健・福祉行政や法制度などを踏まえた上で、公衆衛生看護学のあり方や現状と課題、今後の展望について学ぶ。

到達目標

- (1) 公衆衛生看護の理念と概念を説明できる。
- (2) 保健師活動の対象と場の特性を説明できる。
- (3) 社会環境の変化と健康課題、健康危機について説明できる。
- (4) 公衆衛生看護活動の展開について説明できる。
- (5) 保健医療福祉施策と関連する法令について説明できる。
- (6) 公衆衛生看護の変遷から現代の課題を説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 定期試験 10% (2) 定期試験 10% (3) 定期試験 10%
レポート課題	0	レポート課題はなし
上記以外	50	(1) ワーク 5% (2) ワーク 15% (3) ワーク 10%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

予習は、テキストを中心に行う。
復習は、授業の中で提示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論」	奥山則子他	医学書院	978-4-260-04707-4
2				
3				

教科書は初回授業から持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「国民衛生の動向」	厚生労働統計協会		
2				
3				

参考書は講義中、適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	国際看護学						担当教員	近藤 麻理 / 野口 はるな
講義コード	1500217	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	授	
ナンバリング番号	441NUR331							

授業概要

国際的視野から看護を展開するには、どのような知識が必要であるかを理解したうえで、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について知り、人々の健康に影響を及ぼす人口学的、社会経済学的、文化的な要因について考えていきます。また、国際看護の基本概念ならびに世界の健康問題をふまえ、異文化の価値観を尊重した看護実践について、事例を通して発展的に考えられるようにします。

到達目標

- (1) 世界の健康課題について人口動態等から説明することができる。(世界人口動態の復習)
- (2) 国際機関の役割について理解することができる。(国際機関の名称と役割の予習と復習)
- (3) 国際看護の基本となる概念や実践活動を理解することができる。(PHC、MDGs、人間の安全保障の復習)
- (4) 国際的看護活動の実際を知り、看護の役割を考えることができる。(対象者理解を深めるための映像や書籍による復習)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	30	到達目標(1)(2)(3)については、小レポート(30%)
上記以外	70	到達目標(1)(2)(3)については、授業時のグループによるディスカッションへの参加度と態度(30%)を総合的に評価する。 到達目標(4)については、授業時の参加度と態度に加え、グループワーク、その発表内容(40%)を総合的に評価す

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

事前事後の学習として、授業の中で紹介した書籍を読み、より深い理解を求める。また、紹介する映画についても鑑賞し、アジアやアフリカへの理解に役立てることを期待する。国際的なニュースについて耳を傾け、理解しようとする姿勢を望む。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知って考えて実践する国際看護	近藤麻理	医学書院	978-4-260-03536-1
2				
3				

資料等は、授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	災害看護学						担当教員	岩永 尊 / 本田 可奈子
講義コード	1500221	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR332							

授業概要

現在起こりうる災害、大規模事故や感染症などによる健康危機の発生と対応の必要性を理解する。その上で、危機予防、初動対応、被害者の健康管理、医療提供、精神保健対策など主要な対策、管理における看護職の役割、災害看護における基本的な知識と技術を学ぶ。

到達目標

災害について理解し、看護師としての対応と対策について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	テーマに沿って、自分の考えを述べるができる。 テーマについては、最終講義でお知らせします。
上記以外		

授業外学習

災害看護の何に興味を持ったのか、明確にしておいてください。そのために、災害に関する文献やニュース等情報に触れておくといよいでしょう。テキストは持参してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	災害看護学・国際看護学	浦田喜久子	医学書院	9784260020053
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学概論						担当教員	新井 香奈子
講義コード	1500223	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講	
ナンバリング番号	241NUR231-C							

授業概要

講義のテーマ： 地域包括ケアの時代における在宅看護の概念とその特徴について教授する。

概要： 在宅看護が必要とされる社会背景や在宅看護の歩みについて具体例を示し説明する。また、地域包括ケアの時代において在宅看護の展開に必要な法制度およびその特徴について説明し、地域包括ケアの時代における在宅看護の理解につなげる。

到達目標

在宅看護の概念と在宅看護が必要とされる背景について説明できる。
在宅看護の展開に必要な法・制度・施設・職種について説明できる。
地域包括ケアの理念と地域包括ケアシステムについて説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	各回(1-7回)授業実施後のミニレポート課題 (提出日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない) * ミニレポート課題のルーブリックは授業の中で説明する。
上記以外	70%	1) 第8回の講義内のまとめで実施した知識を確認する「授業内テスト」の結果60% 2) 各回(1-7回)授業の最期に記入するレスポンスカードへのコメント(毎回提示)や質問:10% (各回3ポイ

(1) 到達目標に対する達成度は授業最終日「授業内テスト」、ミニレポート課題、レスポンスカードへのコメント・質問などで評価する。
(2) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

第1回目の授業で、在宅看護学概論の学び方(概要、到達目標など)、授業外学習方法について説明します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 (1):地域療養を支えるケア 第7版	臺 有桂・石田千絵・山下留理子	メディカ出版	978484047543
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

* 授業内でプリントまたは冊子配布

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学実習						担当教員	森本 安紀 / 國丸 周平 / 新井 香奈子 / 横山 詞果
講義コード	1500225	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	341NUR317							

授業概要

実習目的：これまで学んできた知識・技術を統合させ、地域で生活する療養者とその家族の健康上のニーズから在宅看護の意義を理解する。そのうえで、在宅看護過程を通して生活の質の維持・向上を目指した看護を実践するために必要な基礎的能力を養う。また、地域の特性と生活を支える社会資源・多職種との協働について理解し、地域の中での在宅看護の役割を学ぶ。

到達目標

- 1) 療養者と家族を生活者として理解することができる。
- 2) 療養者の健康上のニーズを把握し、在宅看護の意義を理解することができる。
- 3) 受け持ち事例を通して生活の質の維持・向上を目指した在宅看護過程を展開できる。
- 4) 多様な場で提供される在宅看護の特性を理解し、継続看護における在宅看護の役割を理解できる。
- 5) 療養者と家族の生活を支える社会資源・多職種連携と協働、その中での在宅看護の役割を理解できる。
- 6) 地域の特徴を理解し、その地域における在宅看護活動について理解できる。
- 7) 看護者として倫理観に基づいた適切な態度と責任のある言動で実習に臨むことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	主に実習記録、レポート、カンファレンスでの発言内容から総合的に評価する。また、倫理観に基づいた言動で実習に臨んでいるか評価する。

授業外学習

要項を熟読し、事前学習や実習の準備を行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

在宅看護学概論・在宅看護学・在宅看護学演習の教科書・資料などを活用すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	強みと弱みからみた在宅看護過程		医学書院	
2	よくわかる在宅看護		学研	
3				

1.2の書籍については、各施設への持参用を準備しているので実習中に活用すること。

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学実習						担当教員	森本 安紀 / 國丸 周平 / 新井 香奈子 / 横山 詞果
講義コード	1500225	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	341NUR317							

授業計画

【1週目】

月曜日：学内実習としてオリエンテーションと事前課題の確認、訪問時のマナーに関するシミュレーション演習を行う。
火～金曜日：臨地実習として各施設で主に同行訪問と受け持ち事例の在宅看護過程の展開を行う。

【2週目】

月曜日：学内実習として中間カンファレンスと受け持ち事例の看護実践についてシミュレーション演習を行う。
火～木曜日：臨地実習として各施設で主に同行訪問と受け持ち事例の看護実践をおこなう。
金曜日：学内実習として、主に倫理的課題についての検討および記録物とレポートの提出を行う。

担当者から

- 1) 予習復習を行なって、実習に積極的に取り組むこと。
- 2) 公共交通機関の遅延などやむを得ない事情の場合には『学生便覧』に従い、必要な手続きを行うこと。

講義名	在宅看護学						担当教員	森本 安紀 / 國丸 周平 / 新井 香奈子 / 横山 詞果
講義コード	1500226	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR232							

授業概要

テーマ： 地域包括ケアの時代における在宅療養者と家族への支援において必要な基礎知識を教授する

概要： 在宅療養者の病状・状態に応じた看護援助において必要な基礎知識を学ぶ

- ・地域包括ケアシステムの現状と在宅医療・看護の役割
- ・在宅療養者と家族が望む生活の実現
- ・在宅での日常生活援助や援助技術の工夫
- ・地域包括ケアシステムの構築と他職種連携
- ・入退院支援のプロセスと看護の機能・役割
- ・看護の継続性
- ・在宅看護過程の展開
- ・安全管理、災害対策 など

到達目標

- (1) 地域包括ケアシステムの現状と在宅医療・在宅看護の役割について説明できる
- (2) 地域包括ケアの時代における訪問看護の特徴について理解することができる
- (3) 在宅療養者の病状や状態に応じた看護の基本について理解することができる
- (4) 在宅療養者と家族に対する看護の役割が理解できる
- (5) 在宅看護における看護過程の展開方法が理解できる
- (6) 在宅看護における安全管理・災害時対策が理解できる
- (7) 病院の入退院支援のプロセスと看護の機能・役割及び他職種との協働・連携について理解することができる
- (8) 地域包括ケア時代における看護の継続性について理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	定期試験(筆記)
レポート課題	50	課題レポートなど
上記以外		

- 1) 到達目標に対する達成度は定期試験およびレポート課題の内容で評価する(期日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない)。
- 2) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業外の学習(事前学習)については、講義時に示す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 : 地域療養を支えるケア 第7版	臺 有桂 他編集	メディカ出版	978-4-8404-7543-3
2				
3				

2 回生前期で使用した教科書を継続して使用する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する。

前提学力等

在宅看護学概論の履修が望ましい。

履修資格

講義名	在宅看護学						担当教員	森本 安紀 / 國丸 周平 / 新井 香奈子 / 横山 詞果	
講義コード	1500226	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	241NUR232								

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	地域包括ケアシステムと在宅医療・在宅看護	オリエンテーション 地域包括ケアシステムと在宅医療・在宅看護					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			4
第2回	在宅看護における災害対策	災害時の安全管理、災害サイクルと在宅療養支援、災害対策 ・災害サイクルと地域での活動を理解する					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			3
第3回	訪問看護活動の実際	訪問看護の特徴、訪問看護時のマナー・コミュニケーション ・訪問看護活動と各家の価値観、習慣によって尊重すべきマナーのポ					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 2			2
第4回	在宅の場での安全管理	在宅看護におけるリスクの特徴、在宅看護におけるリスクマネジメント					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			2
第5回	在宅看護における家族支援	在宅看護の場における家族アセスメント、家族への支援 ・在宅看護の場における家族の捉え方を学ぶ					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			2
第6回	在宅療養者の病状や状態に応じた看護(1)	認知症を有する療養者への支援 ・在宅看護における疾病の理解と看護の特徴を学ぶ					2	疾患についての基礎知識を振り返 講義で学んだことを整理する。			2
第7回	在宅療養者の病状や状態に応じた看護(2)	神経難病療養者への支援 ・在宅看護における疾病の理解と看護の特徴を学ぶ					2	疾患についての基礎知識を振り返 講義で学んだことを整理する。			2
第8回	在宅療養者の病状や状態に応じた看護(3)	精神障害を持つ療養者への支援 ・在宅看護における疾病の理解と看護の特徴を学ぶ					2	疾患についての基礎知識を振り返 講義で学んだことを整理する。			2
第9回	在宅療養者の病状や状態に応じた看護(4)	終末期の段階にある療養者への支援 ・在宅看護における疾病の理解と看護の特徴を学ぶ					2	疾患についての基礎知識を振り返 講義で学んだことを整理する。			2
第10回	在宅療養者の病状や状態に応じた看護(5)	健康障害をもつ子どもへの支援 ・在宅看護における疾病の理解と看護の特徴を学ぶ					2	子どもの健康障害の基礎知識を振り返 講義で学んだことを整理する。			2
第11回	地域包括ケア時代における看護の継続性	病院の地域連携部門の機能と役割 ・入退院から在宅への移行支援に関する事例を通して、地域連携部門					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			4
第12回	地域包括ケア時代における看護の継続性(2)	入退院支援のプロセスと看護の機能・役割、看護の継続性 ・入退院から在宅への移行支援に関する事例を通して、地域連携部門					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			4
第13回	在宅看護過程の展開(1)	在宅看護過程の定義、目的、特徴、意義と情報収集 ・在宅看護過程の定義・目的・特徴について理解する					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			2
第14回	在宅看護過程の展開(2)	在宅看護過程のアセスメント、関連図、看護課題の明確化 ・在宅看護過程におけるアセスメントの方法が理解できる					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			2
第15回	在宅看護過程の展開(3)	在宅看護過程の計画の立案と評価 ・在宅看護過程における計画立案のための視点が理解できる					2	教科書の該当箇所を事前に読んでく 講義で示した課題に取り組み、学ん			2
第16回	試験										

担当者から

1) 予習・復習を行なって講義に積極的に参加すること。
 2) 授業中は私語を慎み、他の学生の迷惑となるような行動をとらないこと。

講義名	疾病論						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 坪井 宏仁 / 金子 隆昭 / 高橋 完 / 下司 徹 / 岩倉 浩司
講義コード	1500311	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR207							

授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、循環器疾患、消化管疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・尿路疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち(原因)と症状・徴候が説明できる。
(2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	
レポート課題	20	
上記以外		

各担当教員の配点の合計を総合点数とする

授業外学習

疾病の成り立ちを理解していくためにも解剖生理学の復習をしながら学びを深めていくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカEX疾患と看護 ~		メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

1 回生時の授業科目「解剖生理学 および解剖生理学」を履修・理解していること。

履修資格

講義名	小児看護学概論						担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1500321	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR225-C							

授業概要

子どもの権利と、代表的な発達理論を踏まえ、子ども（胎児期から新生児期を含む）の成長発達について理解し、健全な成長発達を促進する援助技術を育成する。小児看護の役割や意義について教授する。

到達目標

- (1) 成長発達の特徴・共通性・影響因子が理解できる
- (2) 発達に関する諸理論について理解できる
- (3) 小児各期の身体・運動・心理・社会的発達とその評価方法が理解できる
- (4) 年齢に応じた遊びや生活援助について説明できる
- (5) 子どもの権利に基づいた子どものとらえ方が理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	ルーブリック参照
レポート課題	30	ルーブリック参照
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。遅刻は-4点とします。期限外の提出物については、評価できない場合があります。

授業外学習

適宜、講義後に課題を出します。課題は次回講義の始まりまでに提出します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学 小児看護学概論/小児保健	小林京子他	メジカルフレンド社	978-4-8392-3359-4
2				
3				

テキストは初回授業から持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

編入生の方は、使用していたテキストをご持参下さい。

前提学力等

履修資格

講義名	小児看護学概論						担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1500321	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR225-C							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習/復習			
第1回	小児看護の特徴と役割	看護の対象となる子どもは常に成長発達する存在であること、しかし、それには大人の支援が必要であること。そのためには、子ども観	2				0
				小児の年齢区分、成長発達の阻害因			2
第2回	子どもの権利と看護	子どもの権利の重要性と権利を重んじた援助のあり方を教授する。発達に関する理論について教授する。	2	テキストより子どもの権利条約につ			1
				発達の理論や成長発達の特徴を振り			2
第3回	胎児・新生児期～乳児期前期	胎児から新生時期の機能的発達と新生児期および乳児期前期の発達を踏まえて栄養・睡眠及び健康増進のための援助方法が理解できるよう	2	発達の理論（ボウルビー、エリクソ			2
				発達の理論（ボウルビー、エリクソ			3
第4回	乳児期後期及び幼児期前期の成長発達と看護	乳児期後期および幼児期前期の発達を踏まえて栄養・睡眠・清潔・排泄・活動 健康増進のための援助方法が理解できるよう教授する。	2	ピアジェの認知発達理論の乳児後期			2
				ピアジェの認知発達理論の乳児後期			3
第5回	幼児期後期の成長発達と看護	幼児期後期の発達を踏まえて栄養・睡眠・清潔・排泄・活動 健康増進のための援助方法が理解できるよう教授する。	2	ピアジェの認知発達理論の幼児後期			2
				ピアジェの認知発達理論の幼児後期			3
第6回	学童期・思春期の成長発達と看護	学童期・思春期の身体・運動・心理・社会的発達が理解できるよう教授する。滋賀県の就学に関する現状を教授する。	2	学童期・思春期の身体・運動・心理			2
				学童期・思春期の身体・運動・心理			3
第7回	子どもと家族の成長発達を促す援助	成長発達の評価方法とそれに伴う課題について教授する。	2	成長発達の評価方法について、テキ			2
				成長発達の評価方法について振り返			2
第8回	まとめ	まとめ	1				0
				講義全体を通して、振り返り、理解			1
担当者から							

講義名	疾病論						担当教員	古株 ひろみ / 横井 和美 / 荒川 千登世 / 系島 陽子 / 安原 治 / 越山 雅文 / 吉川 浩平 / 中野 顕 / 一岡 慶紀
講義コード	1500325	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR208							

授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、悪性腫瘍、血液疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・泌尿器疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち（原因）と症状・徴候が説明できる。
- (2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	85	
レポート課題	15	
上記以外		

各担当者の配点の合計を総合点数とする

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシンググラフィカEX 疾患と看護 ~		メディカ出版	
2				
3				

その他、適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

1 回生時の授業科目「解剖生理学 および 」、「病理学」を履修・理解していること。

履修資格

講義名	疾病論						担当教員	古株 ひろみ / 横井 和美 / 荒川 千登世 / 系島 陽子 / 安原 治 / 越山 雅文 / 吉川 浩平 / 中野 顕 / 一岡 慶紀		
講義コード	1500325	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	241NUR208									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	脳・神経系疾患・検査・治療	症状から診断へ：神経診断学（症候学、診察法、検査法）					2	テキストにて中枢神経系および抹消	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第2回	脳・神経系疾患・検査・治療	末梢神経疾患、神経筋疾患、筋疾患、脊髄疾患、脱髄疾患、機能性疾患（頭痛、てんかん）、内科疾患に伴う神経症状					2	テキストにて中枢神経系および抹消	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第3回	脳・神経系疾患・検査・治療	変性疾患：認知症を中心に（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、					2	テキストにて中枢神経系および抹消	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第4回	内分泌疾患・検査・治療	視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質・髄質疾患等					2	テキスト 腎 / 泌尿器 / 内分泌・代謝	2	主な内分泌疾患に関する課題レポート	2
第5回	腎・泌尿器系疾患・検査・治療	ネフローゼ症候群、腎炎、腎不全の症状と治療					2	テキストにて腎臓・泌尿器系の解剖	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第6回	腎・泌尿器系疾患・検査・治療	透析治療（血液透析、腹膜透析）					2	テキストにて腎臓・泌尿器系の解剖	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第7回	腎・泌尿器系疾患・検査・治療	外科的な治療を有する腎臓疾患、尿管疾患、膀胱疾患、尿道疾患					2	テキストにて腎臓・泌尿器系の解剖	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第8回	免疫系疾患・検査・治療	アレルギー・膠原病疾患・検査・治療 アレルギー性鼻炎、薬物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アナフィラ					2	テキストにて生体の防御機構について	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第9回	免疫系疾患・検査・治療	自己免疫疾患（SLE、関節リウマチ等）					2	テキストにて生体の防御機構について	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第10回	血液・造血器系疾患・検査・治療	貧血、白血病、血友病、悪性リンパ腫、敗血症等の検査、治療					2	テキストにて血液の働きなどの学び	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第11回	血液・造血器系疾患・検査・治療	貧血、白血病、血友病、悪性リンパ腫、敗血症等の検査、治療					2	前回の講義を振り返り、予習する。	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第12回	悪性腫瘍：総論	癌の総説、診断、手術療法、放射線療法、化学療法、分子標的治療、免疫治療					2	テキストにて癌の総説、診断、手術	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第13回	悪性腫瘍：各論	癌患者の統計、胃癌、肝臓癌、大腸癌					2	テキストにて、胃癌、肝臓癌、大腸	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第14回	悪性腫瘍：各論	肺癌、乳癌、緩和医療					2	テキストにて、肺癌、乳癌などにつ	2	講義資料およびテキストにて、学び	2
第15回	移植医療	移植医療の基礎的知識					2	テキストの関連事項を予習する。	2	移植医療の特徴と看護について考察	3
第16回	定期試験	各担当者から出題					2				
担当者から											

講義名	疾病論						担当教員	越山 雅文 / 牧野 耕次
講義コード	1500326	単位数	2	開講期	後期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR209							

授業概要

<前半4回>
 女性の性ステロイドホルモンの調整機構を理解した上で、その異常を学ぶ。
 更年期の病態生理を学ぶ。
 女性の膣・外陰・子宮・卵巣のそれぞれの臓器における疾患の病態を理解した上で、診断や治療を学ぶ。
 新生児における代表的な疾患の病態を理解した上で、診断と治療を学ぶ。
 <後半4回>
 精神医学が対象としている代表的な疾患の病因、病理、疫学および、代表的な精神科治療の概要について学ぶ。

到達目標

<前半>
 (1) 成人女性の性ホルモンの調整機構が説明できる。
 (2) 月経異常の病態生理が説明できる。
 (3) 婦人科疾患の病態生理と診断、治療を説明できる。
 (4) 新生児の特徴を理解し説明できる。新生児の代表的疾患に関して、病態生理の説明と診断、管理ができる。
 <後半>
 (1) 代表的な精神疾患の病因、病理について説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	婦人科疾患 & 新生児疾患：100% (合格は60点以上) 精神疾患に関しては、小テストを3回実施(小テスト60%定期テスト30%)
レポート課題		
上記以外		

成績は、得点率を婦人科疾患50%、精神疾患50%とし、双方合わせて100点満点に換算して最終得点を出します。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学9 女性生殖器	末岡浩 他	医学書院	978-4-260-02184-5
2	新生児学入門	仁志田 博司	医学書院	978-4-260-01433-5
3	精神看護学	川野雅資 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-065-7

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	精神保健論						担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次 / 下通 友美
講義コード	1500327	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR211							

授業概要

精神保健(mental health)の概念を理解し、心の機能や働きについて学習する。また、ライフサイクルに応じた精神社会的発達をベースに、発達年齢における心の健康問題についても学習する。さらに、様々な生活の場において生じる心の健康問題や、それに対する予防や社会的な施策についても学びを深める。特に、生活の場については、滋賀県における心の健康問題の現状や、それに対する取り組み状況についても情報として提供していく。

到達目標

精神保健の概念を理解し、心の機能や働き、またその発達過程について理解する。
エリクソンの発達理論を基に、ライフサイクルにおける心理社会的発達について理解する。
様々な社会病理現象を通して、様々な生活の場や状況における、心の健康問題および心の健康維持増進について考えることができる。
自己の心の発達および、心の健康維持増進について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	こころの機能と働き・ストレスと危機についての理解10% ライフサイクルと心の健康についての理解 20% 生活の場と心の健康についての理解10%
レポート課題	30	課題 : 自分に生じた防衛機制 3~4 : レポートの提出ができ、防衛機制の中から3点選び、自分が今までに無意識に行っていた行動と防衛機制について、例を出して説明できるが、解釈の誤りが見られる。
上記以外	20	毎授業事のレスポンスペーパーによるミニレポートの提出(感想・質問等)

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)は、1回につきマイナス5点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学		南江堂	
2	精神看護学		南江堂	
3				

人間看護学部の学生は必ずテキストを購入すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生涯人間発達論	服部祥子	医学書院	
2	精神看護学ノート	武井麻子	医学書院	
3	精神看護学	吉松和哉	ヌーベル廣川	

内容は看護のテキストに限定せずプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	栄養学						担当教員	奥村 万寿美 / 杉山 紘基
講義コード	1500328	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授業	
ナンバリング番号	241NUR210							

授業概要

科学的な看護実践を導き出すために必要な栄養学を学ぶ。
 栄養素の種類や代謝，食品の成分や機能，各種疾患やライフステージに対する栄養素のかかわりについて理解する。

到達目標

- (1) 各栄養素の消化，吸収，代謝を理解する。
- (2) 栄養状態のアセスメントの重要性とその方法について理解する。
- (3) 各栄養素の供給源となる食品素材について理解する。
- (4) 疾患，ライフステージ別の栄養代謝状態の特徴と，それに応じた栄養管理について理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標に記載の内容について記述試験を実施し、その到達の程度をはかる
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は，評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能	小野 杉山 鈴木 外山 中村	医学書院	978-4-260-01993-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	小児看護学						担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500329	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR226							

授業概要

小児期の主な疾患 とその病態生理を理解し、健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について考察する。さらに、健康障害に応じた看護過程を実践する上での必要な基本的知識や看護援助方法について教授する。

到達目標

- (1) 小児期の主な疾患とその病態生理が理解できる
- (2) 健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について説明できる
- (3) 健康を障害された子どもとその家族のQOLを高める看護ケアが説明できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	胎児循環と新生児循環などのレポート及び課題 各講義後のレポート及び課題
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。遅刻・早退は-4点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学 健康障害をもつ小児の看護	小林京子	メディカルフレンド	
2	小児看護学 小児看護学概論/小児保健	小林京子	メディカルフレンド	
3				

初回授業時にテキストを持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児看護学演習						担当教員	玉川 あゆみ / 古株 ひろみ / 川端 智子
講義コード	1500345	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

小児看護学概論、小児看護学を踏まえて、様々な健康レベルや成長発達に応じた援助方法や技術 について学ぶ。また健康障害がどのように子どもの成長発達や家族に影響するのかを事例を通して理解し、小児看護実践を行うために必要な知識・技術・倫理観を習得する。

到達目標

- (1) 事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開ができる。
- (2) 小児看護における援助技術を習得できる。
- (3) 子どもの援助について発達段階をふまえた説明ができる。
- (4) 小児看護においてよく遭遇する倫理的な問題について解決方法を具体的に述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(2)について評価する。
レポート課題	50	到達目標(1)(3)は看護過程個人ワーク15点、看護過程グループワーク20点で評価する。 到達目標(2)(3)は技術演習レポート9点で評価する。 到達目標(4)は小児看護における子どもの権利と個人情報保護についてのレポート6点で評価する。
上記以外		

欠席 - 8点/回、遅刻、早退は-4点/回、演習時の不適切な身だしなみや他者への迷惑行為 - 2点/回減点とする。
ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

技術演習のレポート・看護過程の展開などの課題有り

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4
2	発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程	荃津智子	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23755-7
3				

教科書・参考書を基に看護過程の展開を進めていきます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論/小児保健	小林京子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3359-4
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3				

1年生、2年生で使用した小児看護学概論と健康障害をもつ小児の看護も使用します。初回授業に持参してください。

前提学力等

専門基礎科目などの基礎的知識
小児看護学概論、小児看護学の単位を取得していること

履修資格

講義名	小児看護学実習						担当教員	川端 智子 / 古株 ひろみ / 玉川 あゆみ
講義コード	1500365	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

入院中の子どもの疾患・治療・成長発達・生活・家族の状態を総合的に理解し、子どもと家族のニーズをふまえ、個別性に応じた計画的な看護実践が展開できる基礎的な能力を養う。

到達目標

- (1) 患児の成長発達に応じたコミュニケーションや遊びができる。
- (2) 小児期の健康障害が、家族に及ぼす影響を理解できる。
- (3) 看護ニーズに関する情報を系統的に収集し、理論的根拠に基づいたアセスメント・診断・計画立案ができる。
- (4) 患児の個別性に応じた安全なケアを実施し、計画の評価・修正ができる。
- (5) 患児とその家族の人権を尊重し、個人情報・プライバシーを保護できる。
- (6) 看護者として主体性と協調性を持った意欲的な実習への取り組みができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標は実習記録、ケアやカンファレンスの内容、面談などから実習期間を通し実習評価項目に基づき総合的に評価する。評価比率は(1):14%、(2):6%、(3):29%、(4):19%、(5):8%、(6):24%である。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

遅刻・早退は-7点/回、欠席-14点/回とする。
学校保健安全法に定められた感染症による出席停止の場合は追実習を実施する。

授業外学習

子どもの身体的および心理・社会的発達、認知・言語的発達
子どもに特徴的な症状や疾患と看護

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3285-6
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格となる修得科目の学習内容が習得できている

履修資格

講義名	成人看護学概論						担当教員	糸島 陽子
講義コード	1500452	単位数	1	開講期	後期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR221-C							

授業概要

成人期の特徴（発達段階、発達課題、健康問題）、生活と健康を守るシステム、成人保健活動の取り組みについて学ぶ。また、成人看護に活用する理論を用いて、各局面（急性期・回復期・慢性期・終末期）の特徴と基本的な看護について考える。

到達目標

- (1) 成人期にある人の特徴（身体的・精神的・社会的）を説明することができる。
(2) 成人期にある人の生活と健康を守る保健・医療・福祉システムの現状を調べ、現状の問題点とそれに対する取り組みを提案することができる。
(3) 健康問題の各局面（急性期・回復期・慢性期・終末期）の特徴と基本的な看護について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	
レポート課題	50%	レポート10点×2回 ミニレポート5点×6回
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

【課題】
成人期にある人（18歳以上65歳未満）1名に、以下の内容をインタビューして課題レポートを作成してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学概論/成人保健	黒江ゆり子	メヂカルフレンド社	9784839233419
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 成人看護学概論	安酸史子 他	MCメディカ	9784840475280
2				
3				

前提学力等

1年次前期の必修科目を履修している

履修資格

講義名	成人看護学概論						担当教員	糸島 陽子		
講義コード	1500452	単位数	1	開講期	後期前半	授業方法	講義			
ナンバリング番号	141NUR221-C									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習/復習				
第1回	成人期にある人の特徴	成人期の発達課題と関連する理論について紹介し、自己のライフサイクルをもとに成人期（青年期）の特徴を考える。					2	教科書：第1章（A青年期）、第3	3	講義や討議をもとに、青年期の特徴	2
第2回	成人期にある人の特徴	成人期（壮年期・向老期）の特徴を考える。					2	教科書：第1章（B壮年期・C向老	3	講義や討議をもとに、壮年期と向老	1
第3回	成人期にみられる健康障害と看護	急性期・回復期・慢性期・終末期の特徴と基本的な看護について考える。					2	マズローの欲求階層説について調べ	2	マズローの階層欲求説をもとに、急	2
第4回	成人期にみられる健康障害と看護：急性期	危機理論を紹介し、生命の危機的状況にある成人期の人への看護について考える。					2	教科書：第4章、第5章（ ・ ）	2	生命の危機的状況にある成人期の人	1
第5回	成人期にみられる健康障害と看護：回復期	障害受容と障害のある成人期の人への看護について考える。					2	教科書：第4章（ ）、第5章	2	障害受容と障害のある成人期の人へ	1
第6回	成人期にみられる健康障害と看護：慢性期	病みの軌跡を紹介し、病いとともに生きる成人期にある人への看護について考える。					2	教科書：第2章（ ）、第4章	3	病いとともに生きる成人期にある人	1
第7回	成人期にみられる健康障害と看護：終末期	死の受容過程、自己概念について紹介し、人生最期のときを迎える成人期にある人への看護について考える。					2	教科書：第2章（ ）、第4章	2	人生最期のときを迎える成人期にあ	1
第8回	成人保健の動向	疾病構造の変化、成人看護に関連する保健・医療・福祉の概要について紹介し、成人期にある人の保健・医療・福祉の政策について学ぶ。					2	教科書：第5章（ ）、第6章を読	2	グループワークをとおして、成人期	1
担当者から											

講義名	成人クリティカルケア演習/						担当教員	荒川 千登世 / 中川 美和 / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500453	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	341NUR302							

授業概要

成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ
ここでは、手術を受ける患者（模擬患者）への、術前から術後・回復期の看護過程の展開を試みることにより、生命の危機的状況における看護について考える

到達目標

- (1) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、身体的・心理的・社会的看護問題を理解するために必要な知識を理解できる
- (2) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、看護過程の展開のために必要な情報を理解できる
- (3) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期における生体の変化（侵襲・生体反応・回復過程）を理解できる
- (4) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、術後合併症の予防・早期発見・回復促進にむけた看護介入を理解できる
- (5) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期におけるセルフケア充足のための援助を理解できる
- (6) チーム（グループ）としての自己の役割・責任の自覚がもてる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

グループワークを含む「演習」なので、参加が前提です。
定期試験40%と課題20%、演習40%で総合的に評価します。

授業外学習

実習でも活用するノートを作成することにより、前提となる知識の確認と予習復習をおこなってください。
グループワークや技術練習など、自主的・計画的にすすめてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	経過別成人看護学 急性期看護：クリティカルケア	明石恵子、他篇	メヂカルフレンド社	
2	経過別成人看護学 周術期看護	明石恵子、他篇	メヂカルフレンド社	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ22 成人看護学 成人看護学概論	安酸史子	メディカ出版	
2	高齢者と成人の周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護	竹内登美子	医歯薬出版	
3	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護	鎌倉やよい	医学書院	

ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 江川隆子 ノーヴェルヒロカワ

前提学力等

専門基礎科目、基礎看護学、成人看護学概論、成人看護学などで習得した知識と技術
成人期の特徴および発達段階の理解

履修資格

講義名	成人クリティカルケア演習/						担当教員	荒川 千登世 / 中川 美和 / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500453	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	341NUR302							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	オリエンテーション 周術期における看護の	オリエンテーション 周術期における看護の概要	1	1) 第1回、第2回の授業テーマに	2 0
第2回	看護過程：術前の看護	模擬患者Aさん(56歳・男性 肝細胞がん)の周術期の看護を組み立てる	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第3回	看護過程：術前の看護	模擬患者Aさん(56歳・男性 肝細胞がん)の周術期の看護を組み立てる	1	1) 第3回、第4回の授業テーマに関	2 0
第4回	看護過程：術中の看護	模擬患者Aさん(56歳・男性 肝細胞がん)の周術期の看護を組み立てる	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第5回	技術演習	技術演習 : 感染制御(外科的手指消毒とガウンテクニック)	1	1) 第5回、第6回の授業テーマに関	2 0
第6回	技術演習	技術演習 : 創傷管理、ドレーン管理、輸液管理	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第7回	看護過程：術後の看護	模擬患者Aさん(56歳・男性 肝細胞がん)の周術期の看護を組み立てる	1	1) 第7回、第8回の授業テーマに関	2 0
第8回	看護過程：術後の看護	模擬患者Aさん(56歳・男性 肝細胞がん)の周術期の看護を組み立てる	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第9回	看護過程の展開 臨床推論：模擬患者Bさ	グループで模擬患者Bさんを受け持ち、Bさんの周術期の看護計画を組み立てる	1	1) 第9回、第10回の授業テーマに	2 0
第10回	看護過程の展開 グループワーク	グループで模擬患者Bさんを受け持ち、Bさんの周術期の看護計画を組み立てる	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第11回	技術演習	技術演習 : 創術前オリエンテーション、術前訓練	1	1) 第11回、第12回の授業テーマに	2 0
第12回	技術演習	技術演習 : 術直後の観察とケア	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第13回	グループワークの発表	模擬患者Bさんの看護のポイントと初期計画の発表	1	1) 各グループの資料を一読してお	2 0
第14回	グループワークの発表	模擬患者Bさんの看護のポイントと初期計画の発表	1	授業内容についてふりかえり、自己	2 0
第15回	まとめ	まとめ いろいろな手術における看護の特徴	1	1) 第15回の授業テーマに関する内	0 1

担当者から

専門基礎科目、基礎看護学、成人看護学概論、成人看護学などで習得した知識と技術をフルに活用して、模擬患者の周術期の看護計画を組み立てていきます。限られた時間でどんどん進んでいきますので、前提学力等に提示した内容の確認と事前学習をおこなってください。またわからないこと

講義名	成人クリティカルケア実習/						担当教員	生田 宴里 / 荒川 千登世 / 中川 美和 / 喜多下 真里 / 片山 将宏
講義コード	1500454	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	341NUR305							

授業概要

周術期における成人期特有の健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

到達目標

- (1) 周術期にある患者の病態生理、手術治療や麻酔法とその影響、回復過程に関する基礎的理解ができる。
- (2) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の心理的ストレス状況の理解と対処への働きかけが理解できる。
- (3) 急性期、回復期、社会復帰における患者とその家族（重要他者）の看護計画が立案できる。
- (4) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の生命と権利を尊重した看護を実施できる。
- (5) 実施した看護に対して、客観的に評価できる。
- (6) 周術期の患者の援助をとおして、医療チームや学生グループにおける自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。
- (7) 急性期の看護について、看護および看護に関連する概念や理論を活用し、論理的に洞察する。
- (8) 急性期にある患者とその家族（重要他者）の看護をとおして、自己の看護への思いを表現できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

成績評価の詳細は、「成人クリティカルケア実習評価表」を参照すること。
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2（可）」以上を必要とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	経過別成人看護学 急性期看護：クリティカルケア	明石恵子、他編	メヂカルフレンド社	
2	経過別成人看護学 周術期看護	明石恵子、他編	メヂカルフレンド社	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 「成人看護学概論」	安酸史子 他	メディカ出版	
2	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護	鎌倉やよい	医学書院	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	

周手術期看護2「術中/術後の生体反応と急性期看護」 竹内登美子 医歯薬出版

前提学力等

3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位をすべて修得

履修資格

講義名	成人クロニックケア演習/						担当教員	中川 美和 / 横井 和美 / 生田 宴里 / 喜多下 真里 / 片山 将宏
講義コード	1500455	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	241NUR301							

授業概要

成人期において慢性的な健康障害を持つ人々が、病いと治療・療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを支援する方法について事例を通して学習し、実践のための基礎的な知識・技術・態度を習得する。また、療養生活を支援していく看護のさまざまな場面での役割を学ぶ。

到達目標

- (1) 療養生活を自分なりに調整しながら慢性の病いと共に生きている患者・家族を全人的に理解する知識をもつ。
- (2) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養生活を支える態度を養う。
- (3) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養生活を支える技術を養う。
- (4) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養環境の調整や地域生活への支援を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	
レポート課題	40%	演習記録を含む
上記以外	20%	小テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論 [第3版]	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	978-4260341721
2	江川隆子のかみくだき看護診断	江川隆子	日総研	978-4-7760-1887-2
3				

前提学力等

本科目は、3年次（通年）の成人クロニックケア実習の前提科目です。

履修資格

講義名	成人クロニックケア演習 /	担当教員	中川 美和 / 横井 和美 / 生田 宴里 / 喜多下 真里 / 片山 将宏				
講義コード	1500455	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習
ナンバリング番号	241NUR301						

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	慢性期における看護の概要	成人看護学(クロニックケア)の復習 慢性期看護の考え方	2	教科書 p 301 ~ 330と教科書 0. 紹介事例の病態関連図や看護過程の 0.
第2回	看護過程	事例の病態関連図 ゴードンの機能的健康パターンによる情報分類とアセスメントの視点	2	紹介事例の病態関連図や看護過程の 0. 紹介事例の看護過程の展開(情報の 0.
第3回	看護過程	事例のゴードンの機能的健康パターンのクラスターごとのアセスメントの方法	2	紹介事例の看護過程の展開(情報の 0. 紹介事例の看護過程の展開(クラス 0.
第4回	看護過程	事例の問題の確定、看護診断との照合 事例の看護問題関連図	2	紹介事例の看護過程の展開(クラス 0. 紹介事例の看護過程の展開(医療問 0.
第5回	看護過程	問題の確定と確定の実際 看護計画の立案と発表	2	紹介事例の看護過程の展開(医療問 0. 紹介事例の看護過程の展開(医療問 0.
第6回	看護理論教科書 p36~97 論の活用	事例の看護に活用できる文献や理論 病みの軌跡理論を中心に患者理解を行う	2	紹介事例の看護過程の展開(指定 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第7回	ナラティブアプローチ	語りを聴くことと意思決定支援	2	紹介事例の看護過程の展開(指定 0. 紹介事例の看護過程の展開(指定 0.
第8回	フットケア演習 (講義)	フットケアを通してのセルフマネジメント 糖尿病足病変のフットケアを通して症状マネジメントを理解する	2	紹介事例の看護過程の展開(指定 0. 紹介事例の看護過程の展開(指定 0.
第9回	フットケア演習 (演習)	症状マネジメントとフットケアの実際	2	紹介事例の看護過程の展開(指定 0. 紹介事例の看護過程の展開(指定 0.
第10回	がん看護	がん化学療法を受ける患者の看護 慢性期にあるがん患者のセルフマネジメント	2	教科書 458~474を復習しておく 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第11回	がん看護	がん化学療法を受ける患者の看護 がん化学療法による副作用症状のセルフマネジメント	2	授業中に提示された課題レポートを 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第12回	輸液療法を受ける人の看護	輸液療法を受ける人への看護 輸液療法の基礎知識と技術	2	教科書 458~474を復習しておく 0. 紹介事例の看護計画を立案する 0.
第13回	輸液療法を受ける人の看護	輸液療法を受ける人への看護 輸液療法の実際をシミュレーション演習	2	紹介事例の看護計画を立案しシミュ 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第14回	ソーシャルサポート	地域での生活を支える看護 慢性期にある人を取り巻く環境・社会資源・ヘルスケアシステム	2	教科書 p 138 ~ 169を一読して、紹 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第15回	病いとともに生きることを支える看護	病とともに生きる人々に必要な看護 過去から現在までの軌跡と現在から未来への行路へのかかわり	2	教科書 p 46 ~ 52を熟読し、紹介事 0. 授業中に提示された課題レポートを 0.
第16回	定期試験			

担当者から

授業の資料や学びは各自でファイリングし、成人クロニックケア実習で活用しましょう。

講義名	成人クロニックケア実習/						担当教員	片山 将宏 / 横井 和美 / 中川 美和 / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500456	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	341NUR304							

授業概要

成人期における慢性的な健康障害を持つ人々の健康問題に対して、身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントを行い、その人が病いと療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを尊重した看護実践力を習得する。また、患者の治療・療養生活の継続にあたって、患者の家族（重要他者）や療養環境についても理解を深め、慢性期看護のあり方を追究する。

到達目標

1. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）を全人的に理解できる
2. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族(重要他者)の意思を尊重した援助的人間関係が樹立できる
3. 受け持ち患者の治療的管理と退院後地域での生活に向けた調整を考慮した個別的な看護計画が立案できる
4. 援助の目的・必要性を理解したうえで患者の意思とセルフマネジメント力を考慮した、安全かつ安楽な方法で看護を実施できる
5. 実施した看護に対して、受け持ち患者の在宅生活を見据えた客観的な評価ができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 実習記録

成績評価の詳細は、「成人クロニックケア実習評価表」を参照すること。
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2（可）」以上を必要とする。

授業外学習

事前学習については、実習要項を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性期看護論	鈴木志津枝	NOUVELLE HIROKAWA	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	成人看護学						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子
講義コード	1500465	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR222							

授業概要

成人期にある人々とその家族（重要他者）の健康問題について、クリティカル・クロニック・エンドオブライフの特徴をふまえて理解し、看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。
乳がん患者の事例をととして、各局面における看護を学ぶ。

到達目標

- 1) 成人期にある人々とその家族（重要他者）の各局面（クリティカル・クロニック・エンドオブライフ）の特徴を説明することができる。
- 2) 各局面の健康問題に対する援助のあり方について説明することができる。
- 3) 各局面の看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	
レポート課題	30%	
上記以外	10%	ミニレポート

各担当者（各局面）の評価点の合計を得点とする。ただし、各担当者（各局面）の6割を必要とする。

授業外学習

エンドオブライフケア事前課題
下記 と から「病いととも生きること」についてレポート（2000字程度）を作成して、第1回講義時に提出してください（字数を記載してく

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	経過別成人看護学 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア	田村恵子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3328-0
3	ナーシング・グラフィカ 成人看護学(2)：健康危機状況 / セルフケアの再獲得 第2版	吉田 澄恵 他	メディカ出版	978-4-8404-7538-9

ナーシング・グラフィカ 成人看護学(4)：周術期看護 第4版 中島 恵美子 他 メディカ出版 978-4-8404-7539-6

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子 編	ヌーヴェルヒロカワ	
3	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護	鎌倉やよい	医学書院	

高齢者と成人の周手術期看護 2 術中 / 術後の生体反応と急性期看護 竹内登美子編集 医歯薬出版

前提学力等

成人看護学概論を履修している

履修資格

講義名	成人看護学							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子		
講義コード	1500465	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義				
ナンバリング番号	241NUR222										

授業計画												
回数	テーマ	概要					予習 / 復習					
第1回	授業の概要 (オリエンテーション)	授業の概要 (オリエンテーション)					2	「成人看護学概論」の講義内容を見講義資料、テキスト・参考書をもと				1
第2回	クリティカルケア 健康危機状況にある対	健康危機状況にある対象の身体的側面を理解するための基礎知識を確認する。基礎知識が看護展開にどのようにつながるのかを理解する。					2	授業テーマに関する内容について、下記項目について、講義資料、テキ				2 3
第3回	クリティカルケア 健康危機状況にある対	健康危機状況にある対象の身体的側面を理解するための基礎知識を確認する。基礎知識が看護展開にどのようにつながるのかを理解する。					2	授業テーマに関する内容について、講義資料、テキスト・参考書をもと				1 2
第4回	クリティカルケア 健康危機状況にある対	健康危機状況にある対象の心理・社会的側面を理解するための基礎知識を確認する。					2	授業テーマに関する内容について、下記項目について、講義資料、テキ				2 3
第5回	クリティカルケア がん看護 (急性期)	乳がん患者の事例をととして、がん患者の周術期における看護について考える。					2	授業テーマに関する内容について、乳がん患者の事例の急性期 (診断が				2 3
第6回	クロニックケア 慢性的な健康障害にあ	慢性期の考え方 慢性期にある疾患や治療の特徴					2	教科書 慢性期看護論 P 4 - 3 4				2 2
第7回	クロニックケア 慢性期にある人の看護	慢性期看護に必要なナラティブ・アプローチ セルフマネジメントへの支援					2	教科書 慢性期看護論 P 3 5 - 教科書 慢性期看護論 P 3 5 -				2 2
第8回	クロニックケア 在宅療養生活に向けて	病院から在宅に向けてチーム医療のコーディネート 退院後の外来での看護					2	教科書 慢性期看護論 P 9 9 - 課題の修正				2 2
第9回	クロニックケア がん看護 (慢性期)	がん再発患者の事例を通して看護を考える。 対象者を理解するための事前知識の整理					2	慢性期看護論 教科書 慢性期看護論				2 2
第10回	クロニックケア	がん再発、転移患者の事例を通して看護を考える。 がんの再発への援助					2	教科書 慢性期看護論 課題を修正して提出				2 2
第11回	エンドオブライフケア	終末期医療 (人生の最終段階における医療) の現状、緩和ケア、死の定義、全人的苦痛について紹介し、人生の最期を支える看護について					2	教科書: 第1編を読み、終末期医療 講義や討論をもとに、本時の学びを				2 2
第12回	エンドオブライフケア	がん疼痛の機序、全身倦怠感などの身体症状についてアセスメントを行い、身体的な苦痛緩和への看護について考える。					2	教科書: 第2編 (第3章) を読み、 講義や討論をもとに、本時の学びを				2 3
第13回	エンドオブライフケア	意思決定のスタイル、SHARE、意思決定を支えるコミュニケーションについて紹介し、エンドオブライフにある人の意思決定を支える看護					2	教科書: 第1編 (第4章)、第2編 講義や討論をもとに、本時の学びを				2 2
第14回	エンドオブライフケア	スピリチュアルケアカンファレンスサマリーシート (SP-CSS) を紹介し、スピリチュアルケア、悲嘆へのケア、家族・遺族ケアについて考					2	教科書: 第1編 (第2章)、第2編 講義や討論をもとに、本時の学びを				2 2
第15回	エンドオブライフケア	がん看護の動向について紹介し、人生の最期を支える医療者へのケアについて考える。					2	がん医療、およびがん看護の動向に 講義や討論をもとに、本時の学びを				2 2
第16回	定期試験	各局面から出題										
担当者から												

講義名	卒業研究(人間看護)						担当教員	学科教員/横井 和美/古株 ひろみ/ 甘佐 京子/古川 洋子/伊丹 君和/ 米田 照美/牧野 耕次/荒川 千登世/
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業方法	演習	
ナンバリング番号	441NUR402							

授業概要

学生個人が研究テーマを設定し、既習した知識を統合して、研究活動を実践する。

到達目標

基礎的な研究方法や問題解決方法を学び、将来の研究活動の基盤となる研究に関する基礎の知識・技術を体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	1. 卒業研究に対しては、以下の評価項目にもとづいて審査する。 (1) 研究目的の明確性 (2) 研究方法の妥当性

学習態度も評価項目に含む

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	坂下令子	系統看護学講座 別巻看護研究	医学書院	978-4-260-02182-1
2				
3				

卒業論文作成の手引きを配布します。研究スケジュールや論文作成の手順については、それを参照してください。上記の参考書以外にも、各指導教

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（人間看護）						担当教員	学科教員／横井 和美／古株 ひろみ／甘佐 京子／古川 洋子／伊丹 君和／米田 照美／牧野 耕次／荒川 千登世／
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業方法	演習	
ナンバリング番号	441NUR402							

授業計画								
回数	テーマ	概要				予習／復習		
第1回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究テーマについて文献検討を行う 指導をもとにテーマの絞り込みを行う	2
第2回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究テーマについて文献検討を行う 指導をもとにテーマの絞り込みを行う	2
第3回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究テーマについて文献検討を行う 指導をもとにテーマの絞り込みを行う	2
第4回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究テーマについて文献検討を行う 指導をもとにテーマの絞り込みを行う	2
第5回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究テーマについて文献検討を行う 指導をもとにテーマの絞り込みを行う	2
第6回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究計画書を作成する。 指導をもとに研究計画書を修正す	2
第7回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究計画書を作成する。 指導をもとに研究計画書を修正す	2
第8回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究計画書を作成する。 指導をもとに研究計画書を修正す	2
第9回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	研究計画書を作成する。 指導をもとに研究計画書を修正す	2
第10回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第11回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第12回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第13回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第14回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第15回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第16回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第17回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第18回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	調査を実施し、結果をまとめる。 指導をもとに調査結果を整理する。	2
第19回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	結果から考察する。 指導をもとに考察を修正する。	2
第20回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	結果から考察する。 指導をもとに考察を修正する。	2
第21回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	結果から考察する。 指導をもとに考察を修正する。	2
第22回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。				2	結果から考察する。 指導をもとに考察を修正する。	2
第23回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第24回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第25回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第26回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第27回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第28回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。				2	卒業論文の作成要領に従って論文を 指導をもとに論文を修正する。	2
第29回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する。				2	プレゼンテーションの準備を行う。 プレゼンテーションの自己評価を行	2
第30回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する。				2	プレゼンテーションの準備を行う。 プレゼンテーションの自己評価を行	2
担当者から								
「看護研究の基礎」で習ったことを基に、研究を進めていくこととなります。「看護研究の基礎」の講義で配布された資料等をファイル等に整理して、必要に応じて持参するようにして下さい。								

講義名	チャイルドライフケア論						担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500732	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR323							

授業概要

代表的な発達理論、各期の成長発達の特徴について知識を重ね、地域で生活している子どもの成長発達を促す科学的根拠に基づいた小児看護援助技術能力を育成する。特に、看護の基盤となる看護倫理と子どもの最善の利益を追求するケアについて考察する。

到達目標

- (1) 子どもの権利を踏まえて自分なりの子ども観が説明できる。
- (2) 発達の理論を踏まえて、発達に応じた子どもの理解力が説明できる。
- (3) 発達や疾患の特徴を踏まえた個別性に応じたプレバレーションが実施できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(1)については25%、(2)については25%で評価する
上記以外	50	到達目標(3)についてはプレゼンテーションにて(50%)で評価する

遅刻、早退は-2点/回で減点とする。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	小林京子	メディカルフレンド	
2	小児看護学	小林京子	メディカルフレンド	
3	小児看護技術	添田啓子	メディカルフレンド	

適宜配布する資料を使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護ケアモデル実践集	松森直美	へるす出版	978-4-89269-778-4
2	チームで支える子どものプレバレーション	及川郁子	中山書店	978-4-521-73495-8
3	医療を受ける子どもへの上手なかかわり方	原田香奈	日本看護協会出版会	

前提学力等

4年次の履修が望ましい。

履修資格

講義名	チャイルドライフケア論						担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ	
講義コード	1500732	単位数	1	開講期	前期前半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	441NUR323								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	子どもの最善の利益を考えた看護と子どもの権利	子どもの権利について理解し、子どもへの最善の利益の必要性を深く学ぶ	2	0 具体的な子どもの年齢と状況や場面
第2回	子どもへのプレパレーションと看護	1. 子どもが小児科外来で診察および処置・検査を受ける際に重要となる子どもの権利について	2	3 対象事例の子どもの発達段階について 2 意見交換を踏まえて対象事例の発達
第3回	プレパレーションの実際	実際に施設を見学し、学びを深める(ただし、時間割通りの予定で見学できません。)見学が無理な場合は、プレパレーションの計画を作	2	3 見学(または計画発表)に向けて 2 見学(または計画発表)での学びを
第4回	プレパレーションの実際	実際に施設を見学し、学びを深める(ただし、時間割通りの予定で見学できません。)見学が無理な場合は、プレパレーションの計画を作	2	3 見学(または計画発表)に向けて 1 見学(または計画発表)での学びを
第5回	プレパレーションの実際	実際に施設を見学し、学びを深める(ただし、時間割通りの予定で見学できません。)見学が無理な場合は、プレパレーションの計画を	2	3 見学(または計画発表)に向けて 2 見学(または計画発表)での学びを
第6回	プレパレーションの実際	実際に施設を見学し、学びを深める(ただし、時間割通りの予定で見学できません。)見学が無理な場合は、プレパレーションの計画を	2	3 見学(または計画発表)に向けて 2 見学(または計画発表)での学びを
第7回	学びのまとめ	学びをレポート1200字にまとめる。	2	2 見学(または計画発表)の学びを整 2 プレゼンテーションへの課題に取り
第8回	プレゼンテーション発表	学びをパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。	2	2 プレゼンテーションの資料の作成お

担当者から

講義名	人間看護学概論						担当教員	本田 可奈子
講義コード	1500734	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	141NUR213-C							

授業概要

看護学の基本概念・役割等看護学の基本を学習し、看護学初学者として自らの看護観を培う基盤を養う。講義は、予習してきたことをもとに学生に質問しながらすすめていく。グループワークやプレゼンテーションでは学習アプリ等を使用して双方向の学びができるように展開していく。

到達目標

1. 看護の歴史の変遷と看護教育制度について理解できる。
2. 看護の基本的概念、看護の対象を理解できる。
3. 医療・保健・福祉システムを概観でき、看護の役割と機能について説明できる。
4. 看護の法的責務について説明できる。
5. 地域（滋賀県）における医療と看護の特徴を知る。
6. これからの看護の課題と展望について自己の考えを整理できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	まとめのレポートの評価（テーマは最終で説明する）。
上記以外	60%	・到達目標(1)～(6)について授業の学びの整理と考察を記述したレポートの評価（10点×5回＝50点） ・到達目標(6)についてグループ発表の評価（10点）

- ・講義数の3分の2以上の出席で授業評価を受ける資格要件とする。
- ・授業開始後20分をこえた出席で、交通事情など防ぎようのない理由以外の遅刻は-8点とする。開始後20分までは出欠票に記載できる。

授業外学習

予習をもとに授業をすすめるため、指定した教科書の範囲は予習をしてくる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシンググラフィカ基礎看護学 看護学概論	志々岐康子他	メディカ出版	
2	看護覚書き-看護であること看護でないこと-	フローレンス・ナイチンゲール著/湯槇ます訳	現代社	
3	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯槇ます・小玉香津子訳	日本看護協会出版会	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介、または配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間看護学概論						担当教員	本田 可奈子	
講義コード	1500734	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	141NUR213-C								

授業計画									
回数	テーマ	概要				予習/復習			
第1回	看護の基本	授業ガイダンス 「わたしの考える看護」について討議				2	シラパスを読み込む。わたしの考え		2
第2回	看護の歴史の変遷	看護の古代から近代までの歴史の変遷について理解する。				2	テキストの本時のテーマに関連する		2
第3回	看護の歴史の変遷と教育制度	看護の近代から現代の動向と教育制度について理解する。				2	看護の歴史の変遷より今後の看護に		2
第4回	対象の理解	健康の概念定義とその変遷を概観する。				2	テキストの本時のテーマに関連する		2
第5回	対象の理解	生活者としての人間（健康と人、地域社会と人、健康障害がある人の理解）と成長発達概念、小児・成人・老年各期の発達段階と健康に				2	健康の概念定義とその変遷より現代		2
第6回	看護理論	代表的な看護理論について理解する（ナイチンゲール、ヘンダーソン、オレム、ペプロウなど）。				2	テキストの本時のテーマに関連する		2
第7回	看護理論	代表的な看護理論について理解する（ロジャーズ、ワトソン、ニューマンなど）。代表的な看護理論から健康と看護の役割について考察す				2	本時で学んだ看護理論を用いて社会		2
第8回	保健・医療・福祉システム	保健・医療・地域包括ケア・福祉サービス提供システムを理解する。				2	テキストの本時のテーマに関連する		2
第9回	看護サービス	保健・医療・地域包括ケア・福祉サービス提供システムにおける看護サービスや他職種との連携、継続性について理解する。				2	本時の学びから保健・医療・地域包		2
第10回	看護の法的側面	看護と法のかかわり、看護実践における法的基盤				2	看護の法的基盤とその課題について		2
第11回	滋賀県における医療の特徴とその課題	滋賀県における医療の特徴とその課題について理解する。 (びわこリハビリテーション専門職大学 教授 埜田和史教授)				2	テキストの本時のテ現代医療におけ		2
第12回	看護における倫理と価値	看護サービスや他職種との連携、継続性について理解する。				2	生活より看護サービスや他職種との		2
第13回	看護の専門性	根拠に基づく看護実践、専門職としての看護の意義について考察する。				2	看護の専門性について考察する。		2
第14回	「わたしの考える看護」	「わたしの考える看護 課題と展望」グループ討議課題				2	わたしの考える看護 課題と展望に		2
第15回	「わたしの考える看護」	「わたしの考える看護 課題と展望」グループ発表まとめ				2	わたしの考える看護 課題と展望に		2
担当者から									
看護を学ぶ第一歩です。まず人に、看護に関心をもってみましょう。									

講義名	人間看護学統合実習/							担当教員	本田 可奈子 / 学科教員
講義コード	1500742	単位数	2	開講期	前期実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

基礎分野、専門分野で学習した知識、技術、態度を統合し、臨床の実践に近いかたちで看護を提供する方法を学び、看護実践能力を身につける。

到達目標

- 1) 看護管理の視点から看護サービスマネジメントの実際を見学し、病院・看護部および看護単位の組織の役割を考察できる。
- 2) 病院における医療安全部門・感染管理部門の活動、専門看護師・認定看護師の活動について見学し、組織の中で、それらの役割を考察できる。
- 3) 看護師長、副看護師長(主任)、チームリーダーの病棟や外来での業務の実際を見学し、看護サービスマネジメントのあり方、リーダーシップ、管理者の役割について考察できる。
- 4) 複数の患者を受け持つ看護師の業務を見学し、ケアに参加することで、ケアマネジメントのあり方、メンバーシップ、継続看護(24時間)について考察できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	実習要項の評価表を参照
上記以外	80%	実習要項の評価表を参照

- 次の項目に基づき総合的に評価し、単位認定を行う。
1. 実習目標への到達度(援助技術到達度を含む) 80%
 2. 課題レポート 20%

授業外学習

4年間の総まとめとしての実習です。また、卒業後に就職する臨床の理解にもつながりますので、積極的に実習に臨んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

実習オリエンテーション時に「人間看護学統合実習要項」・資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

- ・3年次後期の必修科目および、3年次までの実習単位をすべて修得していること
- ・看護管理学または看護管理論を履修していること

履修資格

講義名	ボランティア実践演習						担当教員	関 恵子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 千田 美紀子
講義コード	1500841	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	441NUR333							

授業概要

ボランティア活動は、人とのつながりのプロセスを学ぶ機会となる。看護を学ぶ学生にとって、人と関わるボランティア活動を体験することは、豊かな感性を育むとともに、コミュニケーション力、企画力、看護力を向上させることにもつながる。ボランティア実践演習では、ボランティアの基礎知識やボランティア活動を行うにあたっての心構えやマナーを学ぶとともに、実際にボランティア実践を行う中で、「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるのかを考える。

到達目標

- (1) ボランティア実践を通して学んだことを説明できる。
- (2) ボランティア実践の学びを通して、看護学生として何ができるか考察できる。
- (3) 「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるかレポートできる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	10%	本演習で実践した看護ボランティアでの学びより、「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるのかについて看護の視点より考察する。
上記以外	90%	(1) 看護ボランティア実践計画および看護ボランティア実施日までの運営準備 50% (2) 看護ボランティア実践活動 30% (3) 看護ボランティアの実践報告、学びの発表 10%

* 学内外問わず、原則として遅刻・早退 - 4点 / 回、欠席 - 8点 / 回 とする。

授業外学習

本演習は、看護ボランティア実践のための計画を立案し、実施・評価まで実際に実践してもらいます。履修する学生がチーム一丸となって協力しあい、対象の健康向上に向けた看護ボランティアの実践が求められます。これまでの臨床看護学実習での学びを活かし、対象者一人一人の尊厳、そ

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新ボランティア学のすすめ 支援する / されるフィールドで何を学ぶか	内海成治	昭和堂	9784812214183
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ボランティア実践演習							担当教員	関 恵子 / 伊丹 君和 / 米田 照美 / 千田 美紀子	
講義コード	1500841	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	演習			
ナンバリング番号	441NUR333									

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	看護ボランティア活動とは何か(ボランティア)	・看護ボランティア活動の理念と役割について学ぶ。 ・本科目における看護ボランティア実施場所の概要説明	2		
第2回	看護ボランティア実践計画1	・看護ボランティア先の対象を理解する ・看護ボランティアの企画を考える(実施目的・効果・方法)	2	看護ボランティア実践活動にむけて	1
第3回	看護ボランティア実践計画2	各自で考えた看護ボランティア企画に基づき実施計画書を作成する(各自、2テーマ)	2	演習での学びより、看護ボランティア	1
第4回	看護ボランティア実践計画3	・看護ボランティアの実施計画(個人)を発表する ・個人の実施計画案より、看護ボランティア実践で実施する内容を決	2	個人実施計画発表での指導や助言を	1
第5回	看護ボランティア実践計画4	看護ボランティア実施計画書案(全体)を作成する	2	演習での教員から指導・助言、学生	1
第6回	看護ボランティア実践計画5	看護ボランティア先の事業所に実施計画案を発表する	2	看護ボランティア実践場所となる施	1
第7回	看護ボランティア実践計画6	看護ボランティア先の事業との打ち合わせ内容に基づき、計画書の見直しおよび最終版を作成する	2		
第8回	看護ボランティア実践計画7-1	看護ボランティア実践計画書に基づき、準備を行う	2	演習での活動を振り返り、次回の演	1
第9回	看護ボランティア実践計画7-2	看護ボランティア実践計画書に基づき、準備を行う(続き)		演習での活動を振り返り、次回の演	1
第10回	看護ボランティア実践計画7-3	看護ボランティア実践計画書に基づき、準備を行う(続き)		演習での活動を振り返り、次回の演	1
第11回	看護ボランティア実践活動	実施施設での看護ボランティアを実践する(実施)	2	実施施設での、看護ボランティア実	3
第12回	看護ボランティア実践活動	対象施設での看護ボランティアを実践する(実施)	2		
第13回	看護ボランティア実践活動	対象施設での看護ボランティアを実践する(実施)	2		
第14回	看護ボランティア実践活動	対象施設での看護ボランティアを実践する(実施) 施設の所属長・担当者から本日の実践に対する講評を受ける	2	看護ボランティア実践報告書を作成	2
第15回	看護ボランティア実践の報告、活動を通して	実践を通しての学びを発表し、誰もが心豊かにいきいきと生活できる社会を支えるために自分に何が出来るかについて考える	2	本演習の学びを通して、誰もが心豊	2

担当者から

看護学生の今、できること・考えられること・学んでおきたいこと・たくさんあると思います。

講義名	ホリスティックケア論						担当教員	糸島 陽子 / 横井 和美 / 甘佐 京子 / 古川 洋子 / 荒川 千登世 / 関 恵子
講義コード	1500842	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	441NUR324							

授業概要

ホリスティックケアの世界観・人間観について理解した上で、代表的な代替補完療法の技術を学び、看護師だけでなく保健師、助産師の実践的な看護に生かす方略について検討する。

到達目標

- (1) ホリスティックケアの世界観・人間観について説明できる。
- (2) 講義でとりあげたホリスティックケアについて、基本的な方法を説明できる。
- (3) 文献・フィールドワークをとおして、ホリスティックケアを看護に活かす方略について探求(説明)できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	・各講義の課題レポート(課題は講義時に提示) ・第8回課題レポート:「ホリスティックケアの展望」(2000字程度) 講義終了後に提出
上記以外		

授業外学習

各講義内容に関する論文を1編以上クリティークして、講義に参加する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義時に紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	精神看護学						担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500844	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR230							

授業概要

精神疾患の基礎知識となる精神症状とその対応、および精神疾患の概念・治療について学ぶ。また、コミュニケーション技法を中心に精神領域における様々な関連技について学習する。その一端として、患者を支える家族の状態をアセスメントする方法を学び家族心理教育についても理解を深める。さらに、精神医療・保健・福祉に関連した法律と患者の権利擁護について、その在り方を考える。

到達目標

1. 精神看護領域で活用される関連技法について理解する
2. 治療的コミュニケーション技術についてその意義と活用の実際について学ぶ
3. 精神症状を持つ患者・家族の理解とその対応について学ぶ。
4. 精神科医療における患者の権利擁護について考えることができる。
5. 精神科領域における治療とそれにかかわる看護について理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	毎回授業終了時に、本日の授業内容に関する感想や質問をレスポンスペーパーに記述して提出。内容は、授業内容に応じたものであること。
上記以外		

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)：1回につき総得点より5点減点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	萱間真美 野田文隆編	南江堂	978-4-524-25764-5
2	精神看護学	萱間真美 野田文隆編	南江堂	978-4-524-25763-8
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	出口禎子 松本佳子 鷹野朋美編	メディカ出版	4-8404-5383-7
2	異和感と援助者のアイデンティティ	宮本真巳	日本看護協会出版会	4-8180-0487-1
3				

授業中に資料を配布

前提学力等

「精神保健論」・「精神看護学概論」を履修していることが望ましい。
「疾病論」を同時期に履修することが望ましい。

履修資格

講義名	精神看護学							担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美	
講義コード	1500844	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	241NUR230									

授業計画											
回数	テーマ	概要				予習 / 復習					
第1回	精神症状をもつ患者の理解	1. 精神症状の理解と対応 1) 精神症状の捉え方				2	精神症状と精神機能について、教科	2	精神症状と精神機能について、教科	2	
第2回	精神症状をもつ患者の理解	6) 感情とその障害 7) 意欲・意欲とその障害				2	精神機能の意識や知能などの項目に	2	精神機能の意識や知能などの項目に	2	
第3回	精神症状を有する対象への看護	1) 不安 2) 無力感				2	精神症状の本日学ぶ予定の症状につ	2	精神症状と精神機能の関係につい	2	
第4回	精神症状を有する対象への看護	6) 操作 7) 幻覚妄想				2	精神症状の本日学ぶ予定の症状につ	2	精神症状の各症状について、教科書	2	
第5回	精神科領域における治療と看護 生物学的側	1. 精神科領域における治療・ケア・支援の方法 1) 生物学的側面からの治療：薬物療法とは				2	精神科における薬物療法について、	2	精神科における薬物療法について、	2	
第6回	精神科領域における治療と看護 心理学的側	1) 心理的側面からの治療 (1) 精神療法とは				2	精神療法について、教科書を読んで	2	精神療法について、教科書と資料を	2	
第7回	精神科領域における治療と看護	3) 精神科リハビリテーション (1) 適応と効果				2	精神科リハビリテーションについ	2	精神科リハビリテーションについ	2	
第8回	精神科領域の医学的検査・心理検査と看護	2. 精神科領域の医学的検査・心理検査と看護 1) 生物学的側面からの検査				2	精神科領域の医学的検査・心理検査	2	精神科領域の医学的検査・心理検査	2	
第9回	精神科看護における患者の	1. 精神科看護における基本的人権と倫理的問題				2	精神科看護における患者の権利擁護	2	精神科看護における患者の権利擁護	2	
第10回	心を病む人たちとその家族	1. 精神科領域における家族の捉え方 2. 家族が抱える問題				2	精神科領域における家族について、	2	精神科領域における家族について、	2	
第11回	治療的コミュニケーション技術の実践	1. 治療的コミュニケーション技術とは 2. 良い聴き手になるための演習"				2	コミュニケーション技術について、	2	治療的コミュニケーション技術につ	2	
第12回	「かかわり」と看護	「かかわり」と看護 看護とかかわりの関係				2	ケアリングの定義について、一つは	2	ケアリングについて、資料をみなが	2	
第13回	「かかわり」と看護	「かかわり」と看護 看護におけるかかわりの重要性				2	ケアリングについて、前回の授業を	2	ケアリングの問題点について、資料	2	
第14回	「かかわり」と看護	「かかわり」と看護 看護におけるかかわりの4つの視点				2	患者—看護師関係におけるインボル	2	患者—看護師関係におけるインボル	2	
第15回	看護師のストレスマネジメント	1. 自分のストレスに気づくこと 2. 看護師のストレスマネジメント				2	アサーティブトレーニングについ	2	異和感の対自化とアサーティブト	2	
担当者から											
3年生の精神看護学演習・精神看護学実習につながる科目です。実習で知識を生かせるようにしっかり授業を受けるようにして下さい。											

講義名	精神看護学演習						担当教員	下通 友美 / 甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1500845	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図る。加えて、患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法を学習し、家族への心理教育についても理解を深める。演習のまとめでは、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を実施する。
また、精神障がいを持つ人の生活体験を聞き、精神障害を持つ人の体験を知る機会をもつ。

到達目標

1. 精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図ることができる。
2. 臨地実習に向けて、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を展開することができる。
3. 精神障害を持つ人の話を援助的態度で聞き、当事者の体験を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	本科目の到達目標を達成するために授業の中から、精神臨床看護学、セルフケア理論の知識、精神症状のアセスメントに関する知識、代表的な精神疾患患者への看護に関する知識
レポート課題	10	レポート(10%) 精神疾患をもつ人々の生活体験を聞いて感じたこと、学んだことを記述できる。
上記以外	50	統合失調症患者の看護過程：20% 選択事例の看護過程：20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学 学生・患者のストーリーで綴る実習展開	田中美恵子	医歯薬出版株式会社	
2				
3				

1、2回生で使用した教科書

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

精神保健論、精神看護学概論、疾病論、精神看護学で学んだ内容に関して理解していること

履修資格

講義名	精神看護学演習						担当教員	下通 友美 / 甘佐 京子 / 牧野 耕次	
講義コード	1500845	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号									

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	精神看護実践における看護の	・精神看護実践の目的 ・精神看護実践の特徴				2	1. 2 回生での講義資料に目を通			2
第2回	精神看護学の技術と技法	・精神状態をアセスメントする技術 ・対人関係理論とコミュニケーション技術				2	1. 2 回生での講義資料に目を通			1
第3回	セルフケア理論	・セルフケア理論に関する知識 ・実習における活用の仕方				2	セルフケアの要素について教科書を			1
第4回	統合失調症の事例展開	模擬患者の看護過程を展開する				2	疾患に関する知識を予習しておく 事例展開をすすめる			2 2
第5回	統合失調症の事例展開	模擬患者の看護過程を展開する				2	関連図を完成させる			2 5
第6回	統合失調症の事例展開	模擬患者の看護過程を展開する				2	計画を完成させる			2
第7回	統合失調症の事例展開	模擬看護過程を提出できる 教員の看護過程の例を学ぶ				2				
第8回	教科書の事例展開	教科書に記載してある事例（アルコール依存症、統合失調症、躁病、うつ病、摂食障害、				2	あらかじめ教科書に記載してある事			2
第9回	教科書の事例展開	担当する事例のセルフケアのアセスメント、関連図、計画を作成する				2	セルフケアのアセスメント、関連			5
第10回	教科書の事例展開	担当する事例のセルフケアのアセスメント、関連図、計画を完成させる				2	他者に自分の関連図、計画を発表す			5
第11回	教科書の事例展開	担当事例毎に他グループメンバーと集まる。関連図や計画を発表し、ディスカッションを行う				2	教科書をよく読み、自分が担当して			1
第12回	教科書の事例展開	他グループとのディスカッションをふまえて修正した関連図、計画をグループメンバーへ発表する。				2	他メンバーの看護過程をよく読んで			3
第13回	精神疾患をもつ人々の体験を聞く	アルコール依存症をもつ人の話を援助的態度で聞く				2	話を聞く姿勢について考えておく レポートを提出し、感想を述べる			1 3
第14回	自己理解の技術（牧野先生）	プロセスレコードの書き方、活用の仕方を学ぶ				2	1・2 回生で学んだ資料があれば熟			1
第15回	実習オリエンテーション	実習の実際について *実習要項持参				2	あらかじめ実習要綱を読んでから参 定期試験の準備をする			1 2
担当者から										

講義名	精神看護学実習						担当教員	牧野 耕次 / 下通 友美
講義コード	1500846	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

これまでに習得した精神看護に必要な知識・技術・態度を実際場面に応用し、理論と実践を統合した看護活動を展開する。

到達目標

- 1) 精神的疾患や精神的問題を抱える人のありようを、オレム=アンダーウッドによるセルフケア理論等の理論をとおして理解できる。
 - 2) 時間の流れの中における生活者としてのその人を理解できる。
 - 3) 対人関係モデルや対人関係形成技術を用いて患者 - 看護師関係の形成およびその評価ができる。
 - 4) 看護過程モデルに従い、精神疾患や精神的問題を抱えるその人のありように応じた看護過程の展開ができる。
 - 5) 精神科治療機関や地域で行われている保健・医療・福祉アプローチを理解できる。
 - 6) 地域で行われる保健・医療・福祉アプローチの実際を理解できる。
- 精神疾患や精神的問題を抱える人が利用可能な地域の社会資源（保健所・障害者自立支援事業所等）の活用について知る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	上記の到達目標（実習目標）にそって、実習記録（精神看護学演習評価表）を用いて評価する。詳細は、実習要項に掲載している。

授業外学習

事前学習（実習要項、精-2ページ）
1) 代表的な精神科疾患とその治療について

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学実習 第2版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開	田中美恵子	医歯薬出版株式会社	4263236734
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	精神看護学概論						担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1500847	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR229-C							

授業概要

精神看護領域で用いられる看護理論について学習し、精神看護の基本的概念を理解する。また、国内外の精神医療・看護の歴史の変遷を知ることによって精神疾患に対するスティグマの存在を理解するとともに、地域社会(滋賀県内の現状も含む)における支援の実際についても理解を深める。

到達目標

1. 精神看護の基本概念を理解する
2. 精神看護で使われる理論をもとに看護の対象理解を学ぶ
3. 精神医療福祉の歴史の変遷をもとに、精神疾患に対するスティグマについて理解する。
4. 精神医療・看護の課題について考えるとともに、滋賀県内における精神医療福祉の現状を学ぶ

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	レスポンスペーパーを毎回提出
上記以外		

1単位7.5回の授業構成であるため、1/3(3回)以上欠席した場合評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	萱間真美/稲垣中 編	南江堂	978-4-524-22781-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その他、資料配布在り

前提学力等

精神保健論を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	薬理学						担当教員	土田 勝晴 / 竹内 孝治 / 天ヶ瀬 紀久子 / 石原 安信
講義コード	1500941	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR206							

授業概要

生体は通常、自分自身の恒常性維持機能により、健康な状態を維持している。恒常性が保てない状況に陥った時、それを是正する目的で薬物を使用する。この講義を通して、薬物の投与方法、吸収、分布、効果発現様式、作用メカニズム、副作用、排泄に至る一連の薬物作用について学習するが、これは同時に生体調節機構、病態等に関しても理解を深めることに通じている。

到達目標

薬理学の基本概念を学び、薬物の疾病治療への応用と、予防のため使用される薬物の作用、副作用について理解することを目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

各回の講義終了ごとに、教科書付属の整理ノートのポイントを読み、確認問題を解いて復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	わかりやすい薬理学 第4版	安原一・小口勝司ら	ヌーヴェルヒロカワ	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめの一步 イラスト薬理学	石井邦雄	羊土社	
2	薬がみえる		メディックメディア	
3	シンプル薬理学改訂第6版		南江堂	

前提学力等

履修資格

講義名	薬理学							担当教員	土田 勝晴 / 竹内 孝治 / 天ヶ瀬 紀久子 / 石原 安信			
講義コード	1500941	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義					
ナンバリング番号	241NUR206											

授業計画												
回数	テーマ	概要						予習 / 復習				
第1回	薬理学総論	薬理学の概念を学ぶ。						12	教科書p1-50に目を通す。	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第2回	末梢神経系作用薬1	交感神経作用薬の作用を学ぶ。						12	教科書p51-72に目を通す。併せて生	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第3回	末梢神経系作用薬2	副交感神経作用薬の作用を学ぶ。						12	教科書p51-72に目を通す。併せて生	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第4回	末梢神経系作用薬3	筋弛緩薬、局所麻酔薬の作用を学ぶ。						12	教科書p51-72に目を通す。併せて生	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第5回	中枢神経系作用薬1	中枢神経の概論、パーキンソン病、てんかんの病態と治療薬の薬理作用を学ぶ。						12	教科書p73-100に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第6回	中枢神経系作用薬2	統合失調症の病態および抗精神病薬の薬理作用を学ぶ。生体防御機能としての炎症反応を理解し、抗炎症薬の作用を学ぶ。						12	教科書p73-100に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第7回	中枢神経系作用薬3	躁鬱病、神経症、偏頭痛、アルツハイマー病の病態および治療薬の薬理作用を学ぶ。						12	教科書p73-100に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第8回	呼吸器系作用薬	喘息の病態および治療薬、鎮咳薬、去痰薬の薬理作用を学ぶ。						12	教科書p177-192に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第9回	心臓・血管作用薬1	高血圧、心不全、狭心症に対する治療薬の薬理作用を学ぶ。						12	教科書p101-154に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第10回	心臓・血管作用薬2	腎臓作用薬（利尿薬）および血液系作用薬を学ぶ。						12	教科書p101-154に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第11回	抗炎症薬	炎症の発症メカニズムと役割を理解し、抗炎症薬の薬理作用を学ぶ。						12	教科書p155-176に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第12回	消化器系作用薬、漢方薬	胃潰瘍の治療薬および制吐薬・瀉下薬・制瀉薬の薬理作用を学ぶ。漢方薬による治療の基本と作用を学ぶ。						12	教科書p193-210、275-280に目を通	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第13回	抗感染症薬	各種感染症の病原体と抗感染症の作用を学ぶ。						12	教科書p239-260に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第14回	抗悪性腫瘍薬	悪性腫瘍の特性と抗悪性腫瘍薬の作用を学ぶ。						12	教科書p261-274に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12
第15回	ホルモン・生殖器系作用薬	各種ホルモンの作用および役割を理解し、内分泌器官の異常に対する治療薬（糖尿病治療薬、抗甲状腺薬、骨粗鬆症治療薬の薬理作用を学						12	教科書p211-238に目を通す。併せて	12	薬理学整理ノートでポイントを確認	12

担当者から

講義中でも終了後でも構わないので、分からないことがあれば、積極的に質問して下さい。

講義名	老年看護学概論						担当教員	岡本 紀子
講義コード	1500991	単位数	1	開講期	前期後半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR223-C							

授業概要

「老い」や「加齢」とは何かを考え、高齢者の身体的・心理的・社会的変化を知る。老年看護に活用できる概念・理論、高齢者を取り巻く社会や社会制度について理解を深める。

到達目標

- (1) 加齢に伴う心身の変化を理解できる。
(2) 高齢者を取り巻く地域・社会や社会制度について理解できる。
(3) (1)(2)から高齢者への看護について考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	試験の得点に基づく。(60%)
レポート課題		
上記以外	40	小テストの得点に基づく。(40%)

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	老年看護学概論	正木治恵・真田弘美	南江堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	老年看護学概論						担当教員	岡本 紀子
講義コード	1500991	単位数	1	開講期	前期後半	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR223-C							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習	
第1回	オリエンテーション	日本の高齢者の特徴を学ぶ。	2	日本の高齢化について調べる。1 日本の高齢者の現状と課題について2
第2回	老年期の健康1	加齢に伴う生理的变化を学ぶ	2	高齢者の生理的变化について調べ1 加齢に伴う生理的变化が高齢者の生2
第3回	老年期の健康2	加齢に伴う心理的变化を学ぶ。	2	高齢者の心理的变化について調べ1 加齢に伴う心理的变化が高齢者の生2
第4回	高齢者を取りまく社会	社会における高齢者の認識を学ぶ。	2	社会における高齢者の認識(イメー2 自身の高齢者に対するイメージを振2
第5回	高齢者の生活1	高齢者の生活について学ぶ。	2	高齢者の生活習慣について調べる。2 高齢者の生活習慣と健康について復2
第6回	高齢者の生活2	高齢者のライフストーリーと看護について学ぶ。	2	ライフストーリーについて調べる。2 ライフストーリーと看護ケアについ2
第7回	高齢の健康と看護	高齢者の健康の維持について学ぶ。	2	高齢者の特徴についての振り返り。2 高齢者の健康の維持のための取り組2
第8回	学習のまとめ	これまでの学習のまとめと小テスト	2	これまでの学習内容の振り返り2 授業内容の復習2

担当者から

講義名	老年看護学						担当教員	岡本 紀子
講義コード	1500997	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	241NUR224							

授業概要

加齢に伴う身体的・心理的变化をふまえて健康状態に応じた高齢者への看護ケアの必要性について考え、老年期におこりやすい疾患や障害の病態を知り、アセスメント方法や看護の特徴についての理解を深める。

到達目標

- (1) 高齢者の心身の特徴を理解できる。
- (2) 高齢者の特徴をふまえた看護ケアを理解できる。
- (3) 高齢者に特徴的な障害や疾病と看護ケアを理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	試験の得点に基づく。(60%)
レポート課題		
上記以外	40	小テストの得点に基づく。(40%)

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	老年看護学技術	真田弘美・正木治恵	南江堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

老年看護学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	老年看護学実習 /						担当教員	松井 宏樹 / 岡崎 瑞生	
講義コード	1501032	単位数	1	開講期	通年実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

介護老人保健施設の入所フロアや通所リハビリテーション（デイケア）での実習を通して、老化や疾病、障がいが高齢者の日常生活に及ぼす影響について学ぶ。また、高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。

到達目標

- (1) 高齢者の身体的・心理的・社会的変化の特徴を理解する。
- (2) 老化や疾病、障がい、高齢者の日常生活に及ぼす影響について学ぶ。
- (3) 高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。
- (4) 長い人生を生きてきた高齢者を尊重した姿勢・態度で関わるができる。
- (5) 積極的な態度で実習に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標1(観察・記録30%) 到達目標2(観察・記録10%) 到達目標3(観察・記録10%)

1/5を超えて欠席した場合には、原則として単位を認定できない。

授業外学習

事前に以下の内容を復習し、実習に臨む。
1) 高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴について。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用した教科書や資料、参考図書など。

前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

履修資格

講義名	老年看護学実習 /							担当教員	岡崎 瑞生 / 松井 宏樹
講義コード	1501042	単位数	2	開講期	通年実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

医療施設に入院する高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。健康問題を持つ高齢者の特徴を理解し、高齢者とその家族の状況に応じた看護実践の知識、技術および態度を学ぶ。

到達目標

- (1) 高齢者の健康状態および家族の個別性に合わせた看護過程が展開できる。
- (2) 医療施設における看護師の役割・機能が表現できる。
- (3) 対象および家族を尊重した態度がとれる。
- (4) 専門職にふさわしい態度がとれ、行動ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標1(観察・記録45%) 到達目標2(観察・記録9%) 到達目標3(観察9%)

1/5を超えて欠席した場合には、原則として単位を認定できない。

授業外学習

老年看護学概論、老年看護学、老年看護学演習で学んだ内容の復習をして実習に臨む。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用した教科書や資料、参考図書など

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

履修資格

講義名	地域(健康)生活実習 [地域生活実習]						担当教員	岡崎 瑞生 / 古林 ひろみ / 馬場 文 / 川端 智子 / 中川 美和 / 小林 孝子 / 生田 宴里 / 玉川 あゆみ / 川口 恭子 /
講義コード	1501043	単位数	1	開講期	前期後半	授業方法	実習	
ナンバリング番号	141NUR233							

授業概要

地域で生活する子どもや高齢者などさまざまな人と交流し、看護の対象である「人間」への理解を深める。さらに地域で生活する子どもや高齢者など社会参画しながら生活している人との交流を通して、対象者の「健康な生活」について考える。その中で、看護に必要なコミュニケーション技術を獲得する。

到達目標

- (1) 地域で生活するさまざまな人々の「健康な生活」について考える。
(2) 地域で生活する人々に対する「健康な生活」の支援について考える。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	小児看護学領域評価点：25% 老年看護学領域評価点：25% 成人看護学領域評価点：25%

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。遅刻・早退は-15点の減点とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学演習						担当教員	越山 雅文 / 古川 洋子 / 板谷 裕美
講義コード	1852080	単位数	2	開講期	後期	授業方法	プレ	
ナンバリング番号	581MNT527							

授業概要

女性の健康支援に関する国内外の関連論文を購読し、研究方法を探究するとともに、実践への適用を検討する。

到達目標

1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看護援助を深く考察できる。
2. 周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向および今後の課題が把握できる。
3. 学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルが検討できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学演習							担当教員	越山 雅文 / 古川 洋子 / 板谷 裕美		
講義コード	1852080	単位数	2	開講期	後期	授業方法	プレ				
ナンバリング番号	581MNT527										

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと支援1	1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看									
第2回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと支援2	1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看									
第3回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと支援.3	1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看									
第4回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと支援4	1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看									
第5回	1 リプロダクティブヘルス/ライツと支援5	1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看									
第6回	6 周産期における看護1	周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向を学習する									
第7回	6 周産期における看護2	周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向を学習する									
第8回	6 周産期における看護3	周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向を学習する									
第9回	6 周産期における看護4	周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向を学習する									
第10回	6 周産期における看護5	周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向を学習する									
第11回	11 母性看護における看護支援モデルの検討 1	学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルを検討する									
第12回	11 母性看護における看護支援モデルの検討 2	学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルを検討する									
第13回	11 母性看護における看護支援モデルの検討 3	学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルを検討する									
第14回	11 母性看護における看護支援モデルの検討 4	学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルを検討する									
第15回	11 母性看護における看護支援モデルの検討 5	学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルを検討する									
担当者から											

講義名	老年看護学演習						担当教員	岡本 紀子 / 松井 宏樹 / 岡崎 瑞生
講義コード	1852135	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

高齢者やその家族等に関する文献から生活や健康、ケアに関する現状と課題を明らかにする。(変更になる可能性あり)

到達目標

- (1) 文献のクリティークができる。
- (2) 文献レビューができる
- (3) (1)(2)から自身の研究の課題を

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	クリティーク、文献レビューを文章化できる。
上記以外	60	プレゼンテーション

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学演習						担当教員	新井 香奈子 / 森本 安紀
講義コード	1853210	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	581MNT523							

授業概要

在宅療養者およびその家族を支えるための看護実践を探究する能力が培われるよう教授する。
また、在宅看護学に関連する国内外の文献をクリティークする力を養い、自己の研究課題の焦点化と研究デザインを吟味する能力を培うことにつなげる。

到達目標

1. 在宅看護の課題、および在宅療養者とその家族の課題解決に向けた看護実践についての文献クリティークをすることができる。
2. 自己の研究課題の焦点化と研究デザインについて考えることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1) 60% 文献レビュー 25% (成果とプレゼンテーション) システムティックレビュー 25% (成果とプレゼンテーション)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業は、ゼミ形式で行います。学生の事前の課題学習を基に進めていきます。授業には、十分な準備のもとに臨んできた抱き、活発なディスカッションを期待します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜提示します。

前提学力等

在宅看護学特論を履修していること。

履修資格

